

会長のページ	全国学校保健・学校医大会	河野 雅行	3
日州医談	新会員情報管理システムMAMIS(マミス)について	市来 能成	4
随 筆	人との出逢い：恩師の思い出		
	その2 海軍兵学校入校から終戦まで	森 憲正	6
	串間市観光	石橋 俊秀	8
	あなた本当にイシ?	谷口 二郎	10
特 集	宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業 第10回 宮崎大学医学部 卒前・卒後教育に関する文部科学省事業	東 美菜子	12
エコ・リレー (590)		青山 剛士, 久保田 力	15
メディアの目	頼りは口コミ	加藤 学	18
身近なお困りごと相談室		高山 桂	19
宮崎大学医学部だより	宮崎大学医学部附属病院 ー総合周産期母子医療センターー	児玉 由紀	26
専門分科医会だより	眼科医会	中村 彰伸	27
診療メモ	依存症治療について	大塚 和之	64
宮大医学部学生のページ	学生主体の活動実現に向けて	酒井 麗奈	66

あなたできますか? (令和5年度医師国家試験問題より)	14
表彰・祝賀	16
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会だより (児湯医師会, 西都市西児湯医師会)	22
第25回宮崎県医師会医家芸術展	28
第127回九州医師会連合会定例委員総会	30
日医インターネットニュースから	32
医師国保組合だより	34
会員の異動・変更報告	36
ベストセラー	37
理事会日誌	38
県医の動き	42
ドクターバンク情報	43
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
あ と が き	74

お知らせ	地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について	11
	「新春随想」原稿募集	29
	令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	31
	“8月に本県を襲った地震および台風”に関する原稿募集	35
	日州医事へのご意見・ご感想	47
	日本医師会定例会見ページのご案内	63
	郡市医師会への送付文書	68
	医療勤務環境改善支援センター	72
	日州医事原稿募集のお知らせ	73

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

仮面の店

男女の区別だけでなく社会的な立場や階層など個人の持つ情報を覆い隠してしまう仮面は、千年の海の都ヴェネツィアと運命をともにしてきた。今も120を超える仮面の店があり、個性的な工房も多い。店のドアを開けて足を踏み入れるとき、いつも不思議な気分になる。ここはお気に入りの仮面の店だ。

宮崎市 浅見 鳴子

会長のページ

全国学校保健・学校医大会

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

11月9日に令和6年度日医主催の全国学校保健・学校医大会が宮崎県医師会担当で50年ぶりに開催されます。関連行事として7～8日に文科省および県教育委員会等主催の全国学校保健・安全研究大会，8日に九医連学校医会主催の評議員会・総会，10日に九州学校検診協議会主催の専門委員会・役員会が同場所で開催されます。本大会に備えて一昨年の岩手，昨年の兵庫大会を事務局とともに視察し，準備に入りました。会場の確保（シーガイア）から特別講演やシンポジウム，演題募集まで準備万端の態勢で臨んでおります。アクセスや天候の関係で予定した参加者に来ていただけるかが少し不安です。

学校現場では子どもの数が減少して小規模校が増え，統合，廃校が続いています。しかし子どもを大事に育てるのは数の多少にかかわらず同じです。我が国が長寿社会になった功績の一端は学校保健の充実にあるともいえます。

今回の大会は学校医の立場から学校医の抱える悩みなどにも視点を広げてみました。昨今は学校医のなり手が少なく現場は困窮しています。考えられる理由として，「診療時間内の召集，専門領域外までもカバーしなければならない（仕事量の増加），報酬が低い，健診業務形態の変遷（着衣のままで），医師として当然の業務行動までもが批判される，学校医に対する関心がない」などが挙げられます。この他にも学校保健・学校医をめぐる問題は多岐にわたります。そこで，先述のように今回のテーマは少し視点を变えて，学校医の立場から見た学校保健について考え，「未来ある子ども達のために，いま学校医ができること」としました。

基調講演は日本学校保健会専務理事の弓倉整先生に「学校医の魅力，やりがいとは何か～現状と課題を踏まえて～」のテーマでご講演いただきます。特別講演として水泳のオリンピックメダリストである松田丈志選手を育てられた久世由美子氏に「夢を夢で終わらせない競泳人生」と題してご講演を依頼しました。分科会やシンポジウムには全国より多数の応募があり，いずれも各分野で長年の経験をされた先生方による報告と考察です。全講演を傾聴したいものですが，各分科会は同時開催なので大会後，オンデマンドで視聴したいと思います。

大きな大会を開催するにあたり，毎度頭を悩ませるアトラクションにつきましては，声楽家の米良美一氏による歌とトークを企画しました。

宮崎大会が，今回のテーマにありますように子どもたちの健やかな成長を見守る一助になればと，更に今大会を機に学校医活動が円滑に行えるようになることを期待したいと考えております。

学校医の皆様のみではなく，学校保健に関心のある先生方の多数ご参加をお待ちしております。

（令和6年9月18日）

日州医談



新会員情報管理システムMAMIS（マミス）について

宮崎県医師会 常任理事 いち き よし なり
市 来 能 成

令和6年3月31日に開催された第155回日本医師会臨時代議員会において、山形県医師会三條典男代議員より「医師会への入会及び医師会間の異動に関する手続きのオンライン化について」の質問がありました。その中で、電子カルテを使い慣れた若い医師が紙の文書に入会申込みを記載する敷居の高さや、地区医師会をまたいだ異動の場合に退会・入会の手続きを紙ベースで行う煩雑さについて指摘されました。日本医師会（以下、日医）が令和5年度に実施した入退会・異動手続きの簡素化に係るアンケート調査では、事務局が一定程度申請書類の代筆などを行っている事例や、あらかじめ記入できる項目は記入（印字）し、本人が記入すべき項目を限定している、各病院の事務に依頼して入会届を取りまとめているといった回答が見られました。

令和5年4月から日医情報システム課の会員情報室では、全国の都道府県医師会、郡市区等医師会に「会員情報管理に係る現況調査」を行いました。715の医師会から回答があり、会員情報管理の方法について約15%の医師会が独自開発システムまたは市販のシステムを保有していることがわかりました。一方、348の医師会がExcelなどの表計算ソフトを利用しており、178の医師会は紙の台帳管理を行っていました。

そこで、システムを持つ医師会などを中心にヒアリングが行われました。Aグループはブロック当番県を主体に構成され、九州では福岡県、大分県そして熊本県がヒアリングを受けています。Bグループは14大都市医師会などを主体に構成され、九州では福岡市と北九州市が協力しています。ヒアリング結果をもとに課題・問題点を整理し、それらを解決する方策を要件とし、同年12月より新システム構築プロジェクトが開始されました。

令和6年3月25日に令和5年度都道府県医師会会員情報担当理事連絡協議会が日医で開催され、「新会員情報管理システムの概要と今後の予定について」の説明がありました。新会員情報管理システム名はMAMIS（Medical Association Member Information System）とされ、すべての医師会に所属する会員が対象であり、すべての医師会事務局が会員管理をはじめ、医師会業務に利用できるシステムということです。すなわち、郡市区等医師会まで入会の会員、県医師会まで入会の会員、そして日医まで入会の会員すべての医師会の会員が利用対象になります。マミスでは医師のMy pageにおいて医師自らが登録情報を管理し、Web手続きにより異動などの手続きを簡素化します。各医師会は所属会員の登録情報の管理と申請をタイムリーに把握

し処理します。すなわち、マミスを通じて会員からの入退会・異動の申請があり、それぞれの医師会において承認手続きを行うこととなります。また、コールセンターを設置し、会員・事務局のサポートを充実させます。さらに、認定産業医・認定健康スポーツ医・生涯学習などの研修関連機能を充実させ、受講可能な研修会の選択、申込みを可能にします。取得単位の確認や申請業務もWeb手続き化され、日医生涯教育認定証などの出力がWeb上で可能になります。将来的には医師資格証と連動し、さまざまな会議への出欠管理も視野に入れているそうです。

三條代議員はマミスの進捗状況を質問されましたが、日医に入会しなくてもMy pageを作成できることや、国内2か所にクラウドのサーバーがあり、令和6年10月末には現会員のデータ移行を開始する予定であることが日医より回答されました。新システムが稼働すれば、従来の複写式用紙は廃止になります。そして、令和7年3月末までに全医師会への導入とデータ移行完了を目指しているそうです。これにより医師会業務のDX化を達成することができるとされました。ご承知のとおり、郡市医師会、都道府県医師会そして日医の会員数には違いがあります。前述したように、日医に加入しなくても医師のデータは医師自身がマミスのMy page上で管理することになり、都道府県医師会や郡市医師会はその情報をタイムリーに把握する必要があります。現状の一番の懸念は適切に会費を徴収できるかということでしたが、各医師会の事情が異なるため日医はその問題には関与せず、それぞれの医師会で会費徴収システムを作成してほしいとのことでした。そのため、県医師会ではマ

ミスに連動するシステム構築を検討している段階です。また、マミス導入にあたって一定の費用が発生すると考えられ、日医から補助金がどの程度支給されるかどうかについても気になるところです。一方、パソコン入力やWeb環境になじめない会員が一定数おられると想定されるため、代行入力の委託業務についても検討課題になります。

マミスにより若い医師が医師会に入会しやすくなれば、医師会の業務内容や役割を知っていただく機会が増えることになります。そして若い医師からさまざまな意見を伺うことができるようになり、それらの意見を会務に反映させることで医師会活動が活性化していくと期待されます。また、地域医療に関わる医師が医師会を介してそれぞれのレベルで連携し、自分の役割を再確認し、協力して医療を提供することで県民の健康維持増進を図ることができると思います。

最後になりましたが、医師会の事務局員数は医師会の規模に比例しているため、県医師会では事務局員の数が少ない郡市医師会の支援を考えています。具体的には各医師会の事務局員が顔の見える関係になるような機会を設けることや、各医師会が新システムにスムーズに移行するために何か問題点があれば解決のために支援することを考えています。そのためには県医師会事務局の事務機能をさらに向上させることも必要です。事務局の人員配置・業務内容を見直し、必要であれば事務員の補充も検討しています。正確で安全な情報管理を行い、会務の円滑な運営に努めたいと思いますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

随 筆

人との出逢い：恩師の思い出
その2 海軍兵学校入校から終戦まで宮崎市 もり 森 のり 憲 まさ 正

昭和18年11月下旬、郷里の熊本を離れた。初めての巣立ちであった。親元を離れ、関門海峡を渡った。出逢うのはすべて未知の人々であった。江田島の海軍兵学校では全国から集まった75期生、73、74期の上級生、教官との出逢いが待っていた。昭和18年12月1日、海軍兵学校生徒を命じられ、それまでお互い全く面識のなかった青年集団の中に放り込まれて、起床ラップで始まり巡検ラップで終わる生徒館生活をともにし、学習、訓練に励んだ。

配属された202分隊（73期8名、74期9名、75期31名）もすでに決められており、教官である分隊監事や上級生との出逢いも勿論自分の意志とは全く無関係である。同分隊3号生徒の中、熊本県出身は筆者の他に熊本中学、済々黌からの各1名がいた。入校教育期間（1か月間）中は死に物狂いであった。1号生徒（第73期生）は鬼の如く、そのしごきは猛烈を極めた。起床動作（ベッドから起きて寝間着から作業服に着替え、毛布を畳み、靴下、靴を履き、寢室を飛び出すまで）を3号生徒全員が2分30秒以内にできるようになるまで、毎晩夜の自習時間終了後から就床時まで怒号の中で反復練習させられた。毛布の畳み方が悪いと昼間、週番生徒が巡回して来てひっくり返していった。江田島地震と言っていた。1か月間の入校教育が過ぎ、新年を迎えた途端に1号生徒による修正（鉄拳制裁）が始まった。汚物放置（水洗トイレの流し忘れ）、姿勢が悪い、歩き方がなっとらん、階段の登り方（二段ずつ駆け上がる）が遅い等々、待ち構えていた1号生徒に捕まり、修正を受けた。その都度、鉄拳数を数えていたが、正月3日間に100発以上になったので、それ以上は数えないことにした。課業は学年別であったので、課業中が最も楽な時間で楽しく（？）勉強することができた。

兵学校のトイレはすべて水洗式であった。当時の一般家庭や公共の水洗化率は零に近い低率であったため、便所の使用法に馴染めず、流し忘れることが多く、また小便所の床が一滴でも

汚されていたら、そこを使用する分隊の3号全員が集合させられ、修正を受けた。海軍兵学校艇教育覚書（武田光雄）第五には『便所 六、大便所ノ流水用引手ハ適度ナル力ニテ曳キ、之ヲ切斷セヌコト』と書いてあった¹⁾。

入校時の202分隊監事（分隊担当教官）は自見仁一少佐であったが、半月後、駆逐艦“矢風”の艦長として前線へ出られて、束の間の出逢いであった。後任に猿渡正之少佐が前線から復帰、運用科教官兼202分隊監事として着任された。ミッドウェー海戦（昭和17年6月5日～7日）で僚艦“三隈”と接触し、艦首が圧壊した巡洋艦“最上”は猿渡正之運用長指揮下の応急作業で沈没を免れ、生還された後の赴任であった。厳しい教官であったが、叱責、体罰を加えられたことは一度もなかった。筆者の虫垂炎手術後、結核罹患が明らかとなり、別府海軍病院への転院を渋っていたとき、わざわざ母親を熊本から呼んで入院を説得させるなどの配慮をいただいた。江田島へ帰校したときはすでに転勤しておられて、お会いすることはできなかった。

終戦後、将来の進路を決めかねていたときに猿渡教官からの手紙が届き、復員局勤務に誘っていただいた。引き続き丸亀での商社経営にも加えていただき、ご家族にもお世話になった。そのころ生まれたご子息とは現在も交流が続いている。不思議なご縁である。

急性虫垂炎発症時にお世話になったのは岩松重裕202分隊伍長（分隊先任）である。夜中にベッドで腹痛に苦しんでいたとき、直ちに病室へ同行、軍医官と直接交渉して緊急手術を要望し、夜中にも拘らず呉海軍病院送りの処置をとっていただいた。岩松伍長自身も2号（2年生）のとき急性虫垂炎に罹患し、病室で放置されて手術が遅れ、汎発性腹膜炎を併発、ドレーン排膿に3か月を要したため進級試験を受験できず、一期遅れた苦い経験の持ち主であった。岩松伍長がもし虫垂炎に罹患していなければ72期生として卒業されていて、筆者との出逢いはなかった筈である。73期生として卒業後、軽空

母“千歳”の艦長付となりレイテ沖海戦に参戦、昭和19年10月25日直撃弾を受け、海中に投げ出され、渦に巻き込まれて海中から浮上したとき、艦はすでに沈没していた。泳いでいる中に運よく軽巡“五十鈴”に救助されて生き残ったという²⁾。病気と戦争、二度の死線を越えたなんとも強運の人であった。終戦後、東京大学卒業、日本郵船に就職、副社長で退職。豪華客船“飛鳥Ⅱ”の開発などに努められた。戦後、202分隊会で再会し、お互いの健在を確かめ合うことができた。飛鳥Ⅱへの乗船を勧められていたが、薄給の身では叶わなかった。岩松伍長は坂元正一東大名誉教授と神戸一中で同級生、2人揃って海軍兵学校第72期生として入校された。戦後、岩松伍長を介して坂元教授には特別の知遇を得てご配慮を賜った。不思議なご縁で、感謝の他ない。戦後、毎年1回の202分隊会では修正した1号生徒も、された3号生徒も和気あいあい、往時を懐かしみ話題は尽きなかったが、高齢の域に達して2002年2月の分隊会を最後に閉会となった。

宮崎県海軍三校会で初めて出逢った73期生の夫人が宮崎大学病院に入院されたことがあった。この先輩は終戦前、宇佐航空隊で特攻要員として出撃を待っていたとき、202分隊所属だった2人の73期生と戦友であった。戦後の73期会で夫人の入院のことを知り、202分隊73期生の先輩からたびたびお礼の手紙をいただいた。かつての鬼は仏に変わっていた。いくつもの出逢いが重なった奇縁である。

江田島生活の中で毎朝講堂に向かう課業行進の際、生徒隊の敬礼に対して丁寧に答礼されていた井上成美校長の端麗なご様子が目に焼き付いている。時々、教室の後部入口から入って来て授業の様子を観察しておられた。一般社会では敵性語追放の機運が高まり、野球用語までストライクを「よし」に、ボールを「だめ」に言い替えるような時代であった。そのような世相の中でも江田島の日常生活、課業、実習の中では英語は切り離せなかった。しかし一般社会の影響が及んだのか、江田島内でも外国語学科教官以外の教官の間に英語不要論が出て、英語の時間を軍事学に当てるべきだという意見が大勢を占めるようになったが、井上校長は「自国語しか話せない海軍士官などは、世界中どこへ行ったって通用せぬ。外国語一つもできないようなものは海軍士官には要らない」と英語教育を続行させただけでなく、英語学習法として、英語のままで意味が分かればよしとして英文和訳を禁止し直読直解を勧め、研究社の簡易英々辞典を全生徒に配布し、その使用を命じられた^{2, 3)}。

この校長のお蔭で中学入学以来、大学卒業まで英語学習を中断することなく、英々辞典にも馴染むことができた。しかし兵学校時代の英々辞典には苦勞させられた。新入生の規則として入校と同時に持参した衣類、書物などの私物品はすべて小包便で郷里に送り返さなくてはならなかったのも、手元には英語の辞書は学校から配布された英々辞典しかなかった。田舎の中学校で英々辞典など見たことも使用したこともなかったのも、慣れるまで苦勞の連続であった^{4, 5)}。井上校長は昭和19年8月に江田島を去り、海軍次官として終戦までの1年間、米内海軍大臣の補佐役を務められた。筆者の別府入院と重なり、校長として仰いだのはわずか9か月間であったが、受けた影響は大きかった。昭和50年12月15日歿、86年の生涯であった。

昭和20年10月1日、復員していた熊本県出身の生徒全員が熊本地方海軍人事部に集合させられて、敗戦国の将来を憂い、進むべき道に迷っていた生徒たちを前に江田島で涵養した不屈の闘志を鼓舞し、隠忍自重を求め、祖国の復旧に尽くすよう期待する、と苦衷に満ちた栗田健男校長の惜別の辞で海軍兵学校生徒を免ぜられ、出逢った級友たちと別れて、それぞれの道を歩むこととなった。



岩松重裕伍長(左)と猿渡正之分隊監事(右)
昭和19年1月

参考文献

- 1) 海軍兵学校連合クラス会編：回想のネイビーブルー、p.127、2011年4月、元就出版社。
- 2) 岩松重裕：生涯二度の危機を乗り越えて、なにわ会ニュース、100号、155号、平成21年3月。
- 3) 井上成美伝記刊行会編集：井上成美、p.388、昭和59年1月1日、井上成美伝記刊行会。
- 4) 阿川弘之：井上成美、p.369、1986年10月25日、新潮社。
- 5) 山口理沙：ドルトン・プラン批判的受容から見る井上成美の教育論、青山学院大学教育人間科学部紀要第1号、p.127-141、2010年。
- 6) 江利川春雄：海軍終焉期の英語教育、日本英語教育史研究 第18巻、p.39-66、2003、日本英語教育史学会。

随 筆

串間市観光

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

串間市には2回訪れたことがある。1回目は令和5年4月に都井岬の初駒を見に行った。2回目は6月に都井岬のアジサイや灯台などを見学し、園内で昼食を摂った。その後、「道の駅くしま」でいろんな地元特産の土産を買って、友人たちに配った。

志布志湾海の駅イルカランド

令和5年10月28日(土)の13:30ごろ到着し、イルカランド入口で入園券を購入した(大人は1,500円)。小動物ランドの「うさぎのエサやり体験(1個200円)」,「ポニーの乗馬体験(1回500円)・ポニー手綱引き(1回300円)」,ふれあいサークルの「うさぎと触れあえる(体験料200円)」に興じる子どもたちで賑わっていた。

始めに1日1回だけある14:00からの「ペンギンお散歩タイム」に参加した。名札の付いた5匹のペンギンたちがヨチヨチ歩きながら小動物ランドを1周するのを子どもたちと一緒に追いかけた。なお1匹だけはハロウィン仕様だった。仲良く順番にハロウィングートを通過し、所々で小魚のエサをもらっていた。5匹の小魚が吊された紐を必死に追い回し、飛び上がって食いつく様子が可愛かった。最後にペンギンが自分たちのプールに帰る右端の階段を登るの見送った。なぜか「ひなた」というペンギンだけが左の方に行ってしまったので、スタッフが追いかけて連れ戻していた。その後、プールに入った彼らは陸上と違って自由にスイスイと上手に泳ぎ回っていた。14:30から「ペンギン解説タイム」と続き、希望者は「ペンギン

のエサやり体験(1皿500円)」ができた。参加者がエサを振りまくと、ペンギンたちが一斉にエサに飛びついた。

外のふれあいプールエリアではいろんなことに挑戦できる。例えば「竜宮の館」ではウミガメのエサやり体験(1皿200円)。子どもがウミガメのエサやり挑戦しているのを見ていたら、カメの噛む力が結構強そうだった。「天然釣堀(マダイ・アジ)」や「キッズ釣堀」では釣り体験,タッチプールではエイや魚介類に直接触れることができる。また、「イルカエサやり体験(1皿500円)」や「ドルフィンビーチ(1回1,500円)」(プールの浅瀬でイルカの説明を聞きながら、いろんなところを触れる)のコーナーもあった。

15:00からイルカ館で「イルカショー」が始まった。ペンギンとイルカの着ぐるみを着たマスコットと他のスタッフによる歓迎の踊りで始まった。その後、白組・赤組・青組の3チームにイルカを分けて競技が開始された。観客も座っている階段の場所でどの組を応援するかが決まり、いよいよ競技が開始され、競技ごとに点数が加点されていった。簡単な立ち泳ぎ→その場での回転→右の胸びれだけを掲げて泳ぐ(挨拶)→後方への立ち泳ぎ→ボールに向かってのジャンプ(イルカの身長の数倍の高さにあるボールに唇でタッチする)→スタッフの背の高さくらいの棒の上を飛ばせる(高飛び)→大きな輪を潜らせる(輪くぐり)→4匹が同時にジャンプ→飛び上がる勢いを利用して豪快な飛沫をまき散らす→口でボールを観客席に飛ばす,など。

小さなリングを投げると、口元で回しながら戻ってきた。ボールを渡すと胸びれで抱えながら回転し、対岸の観客のところまで運んでいった。スタッフが回転すると、笛の音に合わせてイルカたちも立ち泳ぎで回転したり、ビート板を口先に置くと、器用に押して対岸まで泳いで行ったりもした。また、観客がポートボールのボールを持ち、子どもたちがボールをプールに投げ込むと、イルカたちがそれぞれの担当のボールに向かってボールを口先で上手に投げ飛ばしていた。ボールを受けるのが上手にできずに苦戦しているチームが多かった。イルカが口先や背中スタッフの足元を支えて水上スキーのように泳ぎ回り、最後に口先でスタッフをプールの外へと放り投げたのは圧巻だった(写真1)。



写真1 イルカショー

イルカショーは約30分続いた。息も切らせぬ迫力の連続だったので、十分に楽しめた。最後に全員揃っての挨拶があった(写真2)。結果、赤組が130点で優勝した。白組120点、青組110点だった。



写真2 イルカ勢揃い

串間温泉いこいの里

道の駅くしまから都井岬に向かう途中の左側に「串間温泉いこいの里」はある。宮崎日日新聞で紹介されていた「ハートマーク模様の鯉」を令和5年8月6日(日)の午後4時ごろ見に行った。

温泉の入り口手前に池があり、いろんな大きさの黒い鯉がたくさん泳いでいた。カメラを構える前に「ハートマーク模様の鯉」を見つけたが、橋の下に素早く隠れてしまった。しばらく様子を見ていたが出てこなかったの、店内に入った。店内には温泉入浴客を十数人見かけた。今入浴すると湯冷めしそうなので、入浴を次の機会に延期した。地元の特産品を多数扱っていた。「のどぐろの味噌汁」という、変わったものを見つけたので試しに購入した。

一休みしてから再び池の所に戻ると、偶然にも例の鯉が泳いでいたので写真撮影した(写真3)。体長は約50cmだった。白地に目と目の間に赤い模様があり、見方によってはハート型に見えた。新聞によると、この池では100匹以上の鯉が飼われているが、いつからいるのか不明とのこと。交配で偶然誕生したのではないかと考えられている。年齢は推定4歳。ハート模様の鯉に「恋愛運上昇のご利益があるかも」と誘客につながることが期待されている。



写真3 ハートマークの鯉

温泉入浴料は中学生以上が500円と安く、美人の湯として有名だとか。また、宿泊もでき、和室とコテージがある。食事豪華そう。道の駅くしまでも紹介されている「串間活べぶりブリ井ぶり」を『一度は食べてみたい』と思っている。

随 筆

あなた本当にイシ？

宮崎市 ^{たに}谷 ^{ぐち}口 ^じ二 ^{ろう}郎

私が医師になりたてのころに経験した恥ずかしい体験談。

アルバイトをしていた病院の近くにある交番から夜中に電話があった。それによると、大きな木の下で男が宙づりになっているという。すでに呼吸も心臓も止まっているが、死因に不審なところがあるので診てほしいと言うのだ。話によると、体はまだ温かく亡くなってから時間は経っていないと思われるという。そこで急いでその場所に駆けつけた。

車から降りると、その場所は市内から離れた田園地帯で、そこは大きな屋敷の裏庭であった。そこに大きな木があり、その枝で宙づりになっている人間が確認できる。それを刑事が懐中電灯で照らしている。刑事と思われる方が、

「先生、こちらが現場です」

「ずいぶん低いところにタオルが結びついていますね。ひょっとしたら誰かが絞め殺してぶら下げたということも考えられるので、家の人は断りなしで外へ出ないように」
いかにも厳かに…

「先生、では検死お願いします」

「まずこの現場、そのまま写真に撮っておいてください。後で思わぬ証拠がそこから出てことがありますから。何枚も写真を撮るように。光力不足などによって写らないと

きもありますから、そういうことには十分気をつけるように…」

シャーロックホームズ風に…

「先生、家の中に遺体を運び入れたのでよろしくをお願いします」

「まず、裸にしてください」

スキのない言葉遣いで

「先生、まず死斑を調べ死亡推定時刻を決定してください」

「じゃ今から死斑のあるところを言いますから書き落としのないように、ちゃんと図も一緒に書いてくださいよ。もちろん写真も撮るように。まず右手首の手背にやや黒ずんだ死斑がありますよね。ここは典型的です」 決定的に

「先生、あの…。あれは死斑じゃないと思うのですが…」

「でも紫色で黒ずんですよ。多分手をどこかでぶつけて内出血した後の死斑ではないですか？」 ややごまかし風に

「でも、ほら布で拭くと落ちますから多分違うと思いますがね。奥様すみませんが水にひたした布を…ほら先生やはり色が落ちますよ。こりゃ小屋の物置にあった炭の粉だと思います」

「さっき暗い所ではそう思ったけどやはりそのようなですな」 多少恥ずかしげに

「ええ。では横向きにしてください。ああこ

こは死斑がありますね。10円玉ぐらいの大きさですけど、やはり死んだとき、下の方に血液がたまるから背中に出るんですよね」

「あの…先生」

奥様が弱いものをいたわるように言った。

「あの～。主人は小さいときから右肩にアザがあるんですの」

「……」 何も言えず真っ赤になる。

「先生まだ死後間もないんで出てないんですよね」

「うん多分そうじゃろー」

「先生、今度は眼を見てください。うっ血斑がたくさん見えますね、ほら遠くから見てもはっきり分かりますね」

「そうですね。首が急に絞めつけられ、頭に行った血液が戻ってこれなくなったからでしょうな。それにしてもこんなに赤い目になった人は初めて見た。本当に一瞬で首が絞まったんでしょう」

すると奥様が、

「先生、本人は非常に真面目でお酒など飲んだことあまりないんですが、今晚に限って気持ちが悪くなるまで飲んだんですよ」

またもや眼が赤いのも酒のせいだったのである。だからもうあまり強く主張しないこ

とにした。

「あの首のところはタオルで絞まった痕ですね」

「多分、そうでしょう」

一応検死が終わった後に刑事に尋ねられた。

「先生、本当にイシでしょうね」

「そうです、イシです。さっき病院でも言ったでしょう」

「でも本当にイシなんですか」

「本当ですとも。イシですよ」

「でも一応イシに疑いが…」

「失礼な。私は研修医ではあっても、国家試験に受かって立派な資格を持った医師ですよ…。全く変なことをあなた、刑事さんも言うもんですね」

「……。はっ？ どういうことですか先生」

「だから私は免許を持った医師です。もし疑っているのなら病院に電話して確認すればいいでしょう！！あるいは家に帰れば自宅に医師免許証の本物がありますから、なんなら持って来ましょうか？」

「は…。でもやはりイシですか…」

なんとなくお互い気まずい感じを残して別れた。そして後で分かった。刑事がイシといたのは“縊死（首つり）”のことなのだった。

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

特 集

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業



開講 50 周年



第10回 宮崎大学医学部 卒前・卒後教育に関する文部科学省事業

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 あずま 東

み な こ 美菜子

現在、宮崎大学医学部では卒前・卒後教育に関する文部科学省事業として、令和4年度からの「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」（事業期間7年）が実施されており、また、令和6年度には「高度医療人材養成拠点形成事業」（事業期間6年）も採択されました。今回はこの2つの事業についてご紹介いたします。

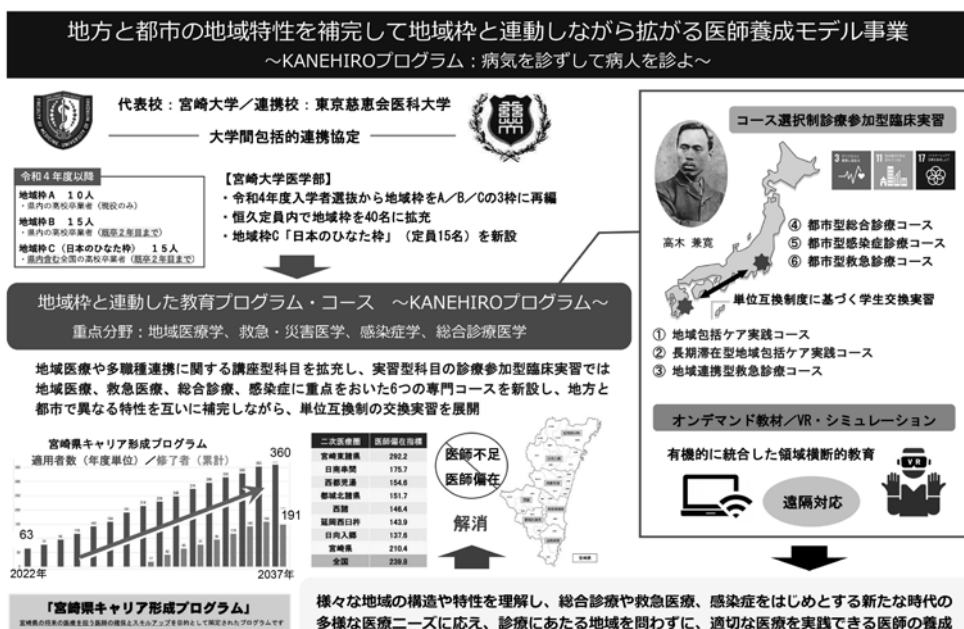
① 文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら広がる医師養成モデル事業
～KANEHIROプログラム～

病気を診ずして病人を診よ～

令和4年度文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」（事業期間7年）に本学の『地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら広がる医師養成モデル事業～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～』が採択され、宮崎県高岡町出身の

令和4年度 大学教育再生戦略推進費「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」



高木兼寛を学祖とする東京慈恵会医科大学との大学間包括的連携協定を基盤に、地方と都市の異なる地域特性を補完する単位互換制臨床実習の充実、遠隔型シミュレーション実習の開発、ICTを活用したオンデマンド教材の制作などを展開しております。

② 文部科学省「高度医療人材養成拠点形成事業」

超高齢化社会における健康寿命の延伸は喫緊の課題とされ、その中でも医療・介護を必要とする疾病原因の多くを占める循環器疾患では、高度な医療体制や臨床研究体制を構築できる人材の確保が急務です。

令和6年度文部科学省「高度医療人材養成拠点形成事業」(事業期間6年)として『世界を視野に宮崎で拍動する循環器臨床研究プラットフォーム構築と連動した高度臨床研究医養成事業』が採択されました。本事業では、宮崎大学

の基礎・臨床医学17分野で構成される【基礎・臨床連携循環器研究推進ユニット】と、宮崎県内9つの基幹病院で多機関共同臨床研究を加速させる【宮崎循環器臨床研究推進ユニット】が協働する『循環器臨床研究プラットフォーム』の構築を目指します。医学部入学後早期より研究者としての素地を育て、卒前・卒後教育、その後の臨床医としてのキャリアにつながる臨床研究支援ユニットを形成して体制を強化し、臨床診療と学術研究の両面で活躍する高度臨床研究医を養成していきます。

最終的には、本事業を経て構築された循環器臨床研究プラットフォームを基盤に循環器疾患研究を継続的に強化すると同時に、糖尿病や感染症、認知症など、他の研究領域にも展開して臨床研究プラットフォームを追加構築し、高度な臨床教育・研究に関する知識・技能を有する医師を養成する教育体系へ発展させます。



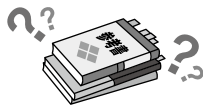
宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学
開講50周年記念事業ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/50thanniversary/>

記念事業へのご寄付に、何卒ご協力お願い申し上げます。



開講50周年記念事業
ホームページはこちら



あなたできますか？

ー令和5年度 医師国家試験問題よりー

(解答は71ページ)

1. 無症状で発見されることが多い疾患はどれか。
 - a 大動脈解離
 - b 腹部大動脈瘤
 - c 感染性心内膜炎
 - d 冠攣縮性狭心症
 - e たこつぼ心筋症
2. 脈管の解剖で正しいのはどれか。
 - a 総肝動脈と総胆管は伴走する。
 - b 下腸間膜動脈は尿管に伴走する。
 - c 脾動脈は腹腔動脈から分岐する。
 - d Glisson鞘には肝動脈、肝静脈および胆管が存在する。
 - e 上腸間膜静脈と下腸間膜静脈が合流して門脈を形成する。
3. 眼窩吹き抜け骨折で起こりにくいのはどれか。
 - a 複視
 - b 鼻出血
 - c 嗅覚障害
 - d 眼球上転障害
 - e 頬部知覚障害
4. 慢性腎臓病〈CKD〉の重症度分類に必要なのはどれか。2つ選べ。
 - a 血圧
 - b 性別
 - c 尿比重
 - d 年齢
 - e 腹囲
5. 急性心筋梗塞後の機械的合併症はどれか。3つ選べ。
 - a 心室中隔穿孔
 - b 左室流出路狭窄
 - c 心タンポナーデ
 - d 急性僧帽弁閉鎖不全症
 - e 急性大動脈弁閉鎖不全症
6. 新生児マススクリーニングで正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 尿で検査される。
 - b 患者家族の一部負担金がある。
 - c 都道府県および指定都市が実施する。
 - d 発見者数はフェニルケトン尿症が最多である。
 - e 先天性代謝異常にはタンデムマス・スクリーニングが使用される。
7. 学校医の役割で正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 学級閉鎖の指示命令
 - b 食に関する指導（食育）
 - c 学校保健計画立案への参与
 - d 長時間労働教職員への面接
 - e 感染症の予防に関する指導と助言
8. 児の神経学的発達段階で誤っているのはどれか。
 - a 1か月でMoro反射が認められる。
 - b 3か月で寝返りをする。
 - c 7か月で顔にタオルをかけるとすぐにタオルを取り除く。
 - d 10か月でパラシュート反射が認められる。
 - e 12か月で抱き上げて立位にし、前後左右に倒すと足を出して体を支えようとする。
9. 32歳の女性（0妊0産）。無月経を主訴に来院した。初経は13歳。月経周期は順調であったが、29歳から月経不順があり、31歳から無月経となり産婦人科を受診した。6か月前から頭痛を自覚し、2か月前から頭痛の頻度と強さが増加した。身長165cm、体重55kg。体温36.3℃。脈拍64/分、整。血圧120/67mmHg。呼吸数18/分。乳房は発達している。外性器は女性型で、陰毛・腋毛を認める。血液所見：赤血球350万、Hb12.1g/dL、Ht33%、白血球3,700、血小板31万。血液生化学所見：TSH2.3μU/mL（基準0.2～4.0）、プロラクチン125ng/mL（基準15以下）、hCG<0.5IU/L（基準1.0以下）。経膈超音波検査で子宮の大きさは正常だが子宮内膜は薄い。卵巣は正常大で、内部に小卵胞を認める。

次に行うべき画像検査はどれか。

 - a 腹部CT
 - b FDG-PET
 - c 下垂体MRI
 - d マンモグラフィ
 - e 甲状腺超音波検査

エコー・リレー

(590回)

(南から北へ北から南へ)

新たなルート

宮崎市 あおやま訪問・救急クリニック あお やま たけ し
青 山 剛 士

2023年4月に宮崎市大宮地区に開業して約1年半が経ちました。当院は一般住宅を改装してクリニックとし、はじめは患者もスタッ

フも少なくのんびりとやっていましたが、今ではスタッフ用の駐車場確保にも苦慮するほどになりました。

患者訪問の際には自分で運転して行くようにしていますが、地元とは言え今まで通ったことのない道に行くことがあり、道と道とのつながりに新たなルートを発見することがあります。そこには今まで知らなかった家や店などの建物だけでなく、山や川などの自然、地域の方々の日々の暮らしがあります。

在宅医療は、病院の中では見えてこない患者さんの生活を実際に感じながらの診療であり、限られた人とモノ、そして空間での日々の診療は困難なことも多いですが、医師としての力量を試されているように感じ、やりがいと面白さを感じます。在宅医療×救急医療、それぞれ別の道ではありますが、それが交わるとき新たなルートが生まれます。

人と人とのつながりを大切に、今後も新たなルートを模索し続けたいと思います。

[次回は、延岡市の岩谷 健志先生をお願いします]

推し活

延岡市 県立延岡病院 く ぼ た い さ む
久保田 力

僕は子どものころ、見た目や仕草のためか女の子と間違えられやすく、からかわれることも少なくありませんでした。いろいろ言われてしまうのはいやだと感じる一方、「男の子らしさ」

のようなものに対していい印象がなく、嫌悪感すら抱いていたように思います。割と深刻に、その葛藤への悩みを抱えながら過ごす日々でした。

成長して悩みが薄れても、言動や趣味は「男性的」とされるものから離れた部分が多いまま。ただ、過去にからかいを受けた経験も影響して周りの目が気になり、自分の好みをなんとなく隠すところがありました。

そんな中、多様性を尊重する風潮が強まったことに加え、SNSが普及し、好みの似た人が多くいるのを実感できる状況に。個性を恥ずかしながら、好きなものを前面に出そうと思えました。時代の流れに感謝！というわけで、今は職場の机にも、スヌーピーやウッドストックのアイテムがいっぱい。転勤の記念にいただいたスヌーピーのスクラブも日常的に使っています。

さて、今回児玉先生からバトンをいただいたのは、テゲバジャーロ宮崎のサポーターつながりでした。発展途上でリアルタイムに進歩が感じられ、わくわく感のあるプレーが楽しいチームです。客席とピッチがすごく近く、迫力満点のスタジアムも魅力的！リーグでは苦戦中ですが、成績だけで評価する声は気にしないのが一番かな…。

これからも、自分の好きなものに誇りを持って生きていきたいと思います。

[次回は、宮崎市の松村 研吾先生をお願いします]

表彰・祝賀

救急医療事業功労により県知事表彰

せき	や	りょう	
関	屋	亮	先生（宮 崎）
だ	て	はる ひこ	
伊	達	晴 彦	先生（都 城）
と	じま	のぶ お	
戸	島	信 夫	先生（延 岡）

令和6年9月6日、救急医療事業功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



関屋 先生



伊達 先生



戸島 先生



産科医療功労により厚生労働大臣表彰

なか やま いく お
中山 郁 男 先生（都 城）

令和6年9月9日、産科医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



救急医療功労により厚生労働大臣表彰

かり や すみ と
仮 屋 純 人 先生（都 城）

令和6年9月9日、救急医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



メディアの目



頼りは口コミ

毎日新聞 宮崎支局長

かとう まなぶ
加藤 学

私はいわゆる「転勤族」だ。これまで九州・山口で10回以上引っ越しし、8か所の地で暮らした。初めて暮らす町で決まって頭を悩ませることが2つある。まずは散髪だ。知り合いと同じ店では芸がないし、コスパも求めたい。恐る恐る入った店で残念な姿に変身してしまったことも。そんな35年の中、口コミではなく、勘と運でなんとか2人、お気に入りの理髪師に出会うことができた（うち1人は宮崎市の理髪店！）。

もう1つは病院選びである。「いい先生」探しで頼りにするのは「勘と運」ではなく、やはり口コミだ。「あそこの先生は無愛想だが、腕はいい」「看護師の対応がよくて、穏やかな先生で好き」などなど。そうした口コミは今やインターネット上に広がっているが、今春、一つのハレーションが起きた。少々長いが、以下は今年4月の毎日新聞の記事である。

「地図アプリ『グーグルマップ』に医療施設を一方的に掲載され、不当な口コミを放置されたとして、全国の開業医ら医療関係者63人が、米グーグルに計約145万円の賠償を求める集団訴訟を東京地裁に起こした。削除をグーグルに求める法的手続きは負担が大きいため、賠償請求を通じてプラットフォームの責任を問うことにした。グーグルマップでは、地図上に施設が表示され、誰もが自由に点数や口コミを投稿

できる。訴状によると、開業医らは、匿名で投稿できる口コミは施設の利用者によるものか確認できず、守秘義務により具体的な反論ができないことも多いと主張。悪意のある口コミが横行している可能性が大きいのに、グーグルはユーザーに条件を付けるといった対策を取っておらず、削除要求にも十分対応していないと訴えている」……。

医師や病院の医療技術や実績を客観視できるデータを明らかにし、可視化されるのが理想だ。例えば北九州市にある26の診療科を持つ総合病院のホームページを見れば、年間施術数など各科ごとの実績がずらりと掲載されている。一方、いわゆる町のお医者さんについては「病院ナビ」など複数の紹介サイトがあるにはあるが、「実績」開示のサイトは見かけない。患者の感想の書き込みはあるが少なかったりして、どこまで信頼していいものか。

とある酒席で、ある医師にずばり尋ねた。「同業者同士で、『あそこのクリニック、どうかな』なんて話、しないんですか」。すると「あの病気にあの治療はないよね、という病院は話題になったりする」……。そんな「確度の高い口コミ」が私たちは欲しいんですよ、先生！ 思わず声が大きくなった。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第37回 モンスターペイシメントに関する法整備について

**Q.**

近頃、当院に対して不当なことを要求し、これを断られると大声を出すなど悪態をつく患者が増えていることに悩んでいます。ところで、最近ではこのようなモンスターペイシメント（カスタマーハラスメント）が社会問題として認識されつつあるように思います。何かこの問題に関して、法律の整備や社会的な対応はなされないのでしょうか。

近年、医療機関のみならずあらゆる業界において、顧客（消費者）による不当要求や大声で怒鳴る、SNSなどに拡散するという嫌がらせ行為などのカスタマーハラスメント（以下、「カスハラ」と言います）が横行し、社会問題の1つになっています。

実際、厚生労働省による各企業に対するカスハラのアンケートでは、「持続的な執拗な言動（頻繁なクレーム、同じ質問を繰り返すなど）」が57.3%と最も多く、次いで「威圧的な言動（大声で責める、反社会的な者とのつながりをほのめかすなど）」が50.2%となっており、多くの企業で大きな問題となっていることがわかります。これは医療機関においても全く同様であり、多くの医療機関で患者の不当要求や迷惑行為に苦慮しています。そのため、東京都ではカスハラに特化したカスハラ防止条例の制定を進めており、また国としてもカスハラ対策を政策の1つとして掲げるとともに、厚生労働省が主導して、事業者に対してカスハラから労働者を保護するための法整備への検討が進められています。

確かに、カスハラはセクハラやパワハラと異なり、どこまでが顧客の権利主張でどこからがカスハラになるのかという線引きが難しいという側面があります。しかしながら、カスハラ問題による従業員の離職や業務妨害はもはや無視できないレベルとなっています。つまり普段の生活の中で、自身や家族が被害と加害の当事者になり得る「カスハラ問題」は、いよいよ国民的議論のステージに浮上してきました。

私は、このような医療業界を崩壊させかねないモンスターペイシメント問題に対しては常に毅然とした対応を勧めてきましたが、これが法律として定まればより皆様も安心して対処することができるようになるため、非常に期待しています。なお、2025年にはカスハラ対策法案を国会に提出する予定であることから、今後もカスハラ問題に対して社会がどのように動くのか、注目です。

（回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂）

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～8月～

令和6年7月29日～令和6年9月1日（第31週～第35週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例（男性7例・女性5例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症5例：宮崎市保健所管内から報告があった。患者が3例，無症状病原体保有者が2例で，年齢別報告数は20歳代が3例，30歳代と40歳代が各1例であった。原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便，発熱，軟便がみられた。

4類：○日本紅斑熱3例：宮崎市，日南，小林（各1例）保健所管内から報告があった。年齢はいずれも80歳代で，2例で刺し口があった。主な症状として発熱，発疹，DIC，肝機能異常，ショック，倦怠感がみられた。

○レジオネラ症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状としてしづり腹，大腸粘膜異常所見がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として肺炎がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状としてショック，腎不全，急性呼吸窮迫症候群がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症4例：宮崎市（3例），延岡（1例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は80歳代が2例，60歳代と70歳代が各1例であった。主な症状として発熱，咳，意識障害，肺炎，菌血症，喀痰増加，胸痛等がみられた。

○梅毒16例（男性7例・女性9例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹がみられた。

○百日咳1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，主な症状として持続する咳，白血球数増多がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

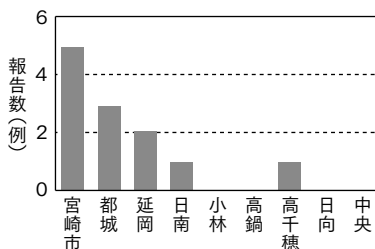


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	6
その他の結核 (結核性胸膜炎)	4
無症状病原体保有者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
50歳代	2
60歳代	1
70歳代	2
80歳代	4
90歳代	2

表3 腸管出血性大腸菌感染症
原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O115 (VT1)	2
O157 (VT1,VT2)	1
O157 (VT2)	1
O168 (VT2)	1

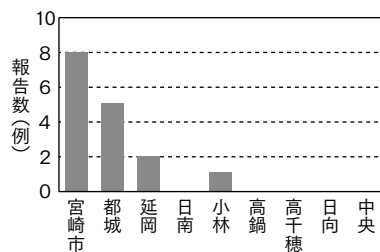


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	6
早期顕症梅毒Ⅱ期	5
無症状病原体保有者	5

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	8
30歳代	3
40歳代	4
60歳代	1

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:l,7)	1
	EPEC (OUT: HUT)	1
	Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	1
	Salmonella enterica subsp. enterica (O4: H不明)	1
ウイルス	Parainfluenza virus 3	1
	Adenovirus 1	1
	Rhinovirus	1
	Human herpes virus 6	1
	Respiratory syncytial virus (RSV)	1

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は5,952人（定点あたり137.8）で、前月の69%、例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の142%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は2,908人（50.1）で前月の約半数であった。延岡（84.4）、高千穂（83.5）、中央（62.0）保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約3割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は784人（21.8）で前月の約1.7倍、例年の約4倍であった。日南（47.3）、宮崎市（33.1）、中央（31.0）保健所からの報告が多く、1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向（2024年8月）

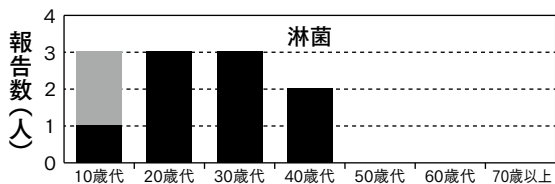
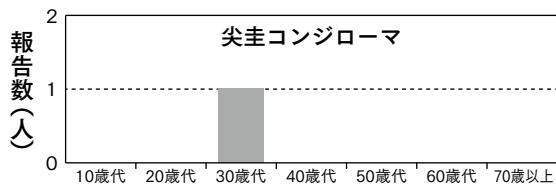
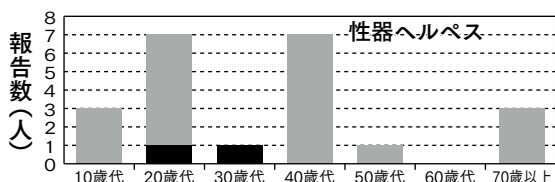
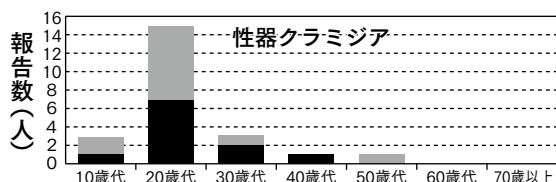
□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は57人（4.4）で、前月比136%と増加した。また、昨年8月（3.0）の約1.5倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人（1.8）で、前月と同程度、昨年8月と同率であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性11人・女性12人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数22人（1.7）で、前月及び昨年8月の2.2倍であった。（男性2人・女性20人）
- 尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の約0.3倍、昨年8月の約0.5倍であった。（女性1人）
- 淋菌感染症：報告数11人（0.85）で、前月の約1.8倍、昨年8月の約2.8倍であった。（男性9人・女性2人）



■ 男 ■ 女

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人（3.3）で、前月比89%と減少した。また、昨年8月（3.7）の約0.9倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数22人（3.1）で、前月の約0.9倍、昨年8月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）で前月と同率であった。（昨年8月報告なし）
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2024年8月		2024年7月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	28	0.5	8	0.1	
新型コロナウイルス※1	2,908	50.1	6,078	104.8	
RSウイルス感染症	399	11.1	847	23.5	★
咽頭結膜熱	64	1.8	71	2.0	★
溶レン菌咽頭炎※2	533	14.8	724	20.1	★
感染性胃腸炎	648	18.0	566	15.7	
水痘	34	0.9	19	0.5	
手足口病	451	12.5	567	15.8	
伝染性紅斑	0	0.0	2	0.1	
突発性発しん	62	1.7	59	1.6	
ヘルパンギーナ	784	21.8	456	12.7	★
流行性耳下腺炎	13	0.4	6	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	9	1.5	9	1.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	16	2.3	9	1.3	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	3	0.4	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各都市医師会だより

児 湯 医 師 会

会 長 ^{きた}北 ^{むら}村 ^{ひろし}洋

令和6年6月の定時総会で、11期22年にわたり医師会長を続けてこられた永友和之会長の勇退にともない、今期から児湯医師会会長の職を担うことになりました。元会長の山口政仁先生から30年弱高鍋町の先生が会長をされており、新富町からは初めての会長になります。そのうえしばらく理事を離れていたので医師会の運営に不安な面もありますが、新副会長の鳥原康治先生の力を借り、微力ながら児湯医師会のために働くつもりです。医師会運営には再任された山中聡理事、押川克久理事、山口政一朗理事、谷畠満理事、山口真太郎理事に加え、新しく桐ヶ谷大淳理事、宮尾雄治理事、瀧井英一理事、吹井聖継理事、望月仁志理事、織田真悠子理事を加え行っていきます。特に山中理事には県医師会理事も引き続きお願いしております。理事以外でも黒木宗俊先生には議長と児湯准看護学校の校長を、坂田師隣先生には副議長と副校長を引き受けてもらっています。

児湯医師会では会員数の減少、域内入院ベッド数の減少、会員の高齢化、域内住民の減少、看護師や医療事務職員の不足など、多くの難題を抱えています。児湯准看護学校は赤字経営を続けていますが、域内の看護職不足には貢献しており、今後も続けていくつもりです。

今年は診療報酬改定があり、マイナンバーカード保険証の使用促進、高血圧、糖尿病、脂質異常症が特定疾患からはずれ生活習慣病で診療しなくてはならないなど大きな変化がありました。職員の賃金の増加圧力、医療材料費価格上昇、燃料費高騰、物価高騰など医療機関の経営が大変厳しいものとなっており、医師会活動にも影響が出そうです。

記録的な猛暑の中、コロナの11波がいまだに続いております。10月からは高齢者のコロナワクチン定期接種も始まりますが、事務手続きは医師会で取りまとめることになっており、インフルエンザワクチンの接種時期と重なるためどうなるか心配しております。

医師会の運営に対する各自治体、保健所のご指導、援助には感謝しています。入院依頼や救急搬送先として周辺の西都市西児湯医師会、宮崎市郡医師会、日向市東臼杵郡医師会には特に感謝しています。地域住民の皆様の健康を守るため保険、医療、福祉の各分野で邁進していきます。今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



児湯医師会新役員

役員等名簿（任期 令和6年6月20日定時総会終結後～令和8年6月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
* 会 長	北村 洋	外科, 消化器科, 内科	北村医院	総括, 県医師国保組合理事, 県外科医会理事, 西都児湯医療センター評価委員
* 副会長	鳥原 康治	耳鼻咽喉科, 気管食道外科	たかなべ耳鼻咽喉科 クリニック	医療安全対策, 諸規程検討委員会, 倫理向上・自浄作用活性化委員会, 医療関係者対策委員会, 児湯准看護学校主事
理 事	山中 聡	内科	川南病院	県医師会理事, 勤務医部会, 病院部会・医療法人部会, 医師協同組合総代, 医師確保対策委員会, 県内科医会理事, 児湯内科医会長
”	押川 克久	内科, 呼吸器科, アレルギー科	おしかわ内科 クリニック	産業医部会理事, 新型コロナ対策委員, 医療保険委員会
”	山口政一朗	整形外科, 放射線科 リハビリテーション科	山口整形外科	情報システム委員会, 労災部会・自賠委員会
”	谷畠 満	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	たにはた整形外科	介護保険委員会, 医師協同組合総代, 保険・労務
”	山口真太郎	脳神経外科, 神経内科	やまぐち脳神経外科	総務, 会計, 会館管理
* ”	桐ヶ谷大淳	総合診療科	都農町国民健康保 険病院	在宅医療協議会, 県央在宅緩和ケア連絡協議会, 公衆衛生・感染症委員会
* ”	宮尾 雄治	循環器内科, 内科	国立病院機構 宮崎病院	健康教育委員会, 会員福祉委員会, 学術生涯教育委員会, 公衆衛生
* ”	瀧井 英一	循環器内科	川南病院	救急災害医療対策委員会, 宮崎県メディカルコントロール協議会
* ”	吹井 聖継	外科, 消化器科, 胃腸科	尾鈴クリニック	宮崎中部地域産業保健センター運営協議会
* ”	望月 仁志	脳神経内科	海老原総合病院	学術生涯教育委員会
* ”	織田真悠子	小児科	おりたこども クリニック	予防接種委員会, 腎臓検診委員会
監 事	内田 俊浩	内科	内田医院	西都児湯医療圏糖尿病発症予防・糖尿 病性腎症重症化予防対策連絡会
* ”	大森 史彦	内科, 循環器内科, 腎臓内科 漢方内科, 小児内科	大森内科医院	学校検診委員会, 心臓・腎臓検診委員会
* 議 長	黒木 宗俊	内科	黒木内科医院	児湯准看護学校長, 介護認定審査会長
* 副議長	坂田 師隣	外科, 婦人科	坂田病院	児湯准看護学校副校長, 西都児湯障害認定審査会, 西都児湯地区メディカルコントロール協議会

* は新任

各都市医師会だより

西都市西児湯医師会

会 長 まつ もと ひで ひろ
松 本 英 裕

令和6年6月24日の定時総会にて、私、松本が5期目をさせていただくことになりました。会長共々、副会長には留任していただきましたが、昨年逝去された副会長の鶴田明士先生に代わって実兄の鶴田曜三先生に理事に入っていただき、当医師会にとって初めての女性副会長に上野尚美先生になっていただきました。理事、監事、顧問には若干の移動がありました。議長には留任していただき、副議長には新たに久保恵是先生をお願いいたしました。新役員の先生方には新たな風の吹きこみに期待しているところです。過去4期において、会長としてどこまで役を果たせたか分かりませんが、副会長には代役を含め、また理事、事務長には多くの場面においてサポートしていただきましたことに感謝申し上げます。5期目も副会長以下、役員の皆様に支えていただきながら会員の皆様のために尽力したいと思います。

独立行政法人西都児湯医療センターにおいては医師会と二者協議を行っており、医師会としては医師同士少しでも多く語り合い、今まで以上に良好な関係を築きあげたいと考えております。新病院建設計画は停滞しておりますが、先日も二者協議を行い、経営強化プラン作成へ一歩進んだと考えております。更に周辺市民、町民に望まれる病院づくりに向かってよく話し合い、協力していきたいと思っております。

来年初めには西都市長選を控えております。行政と医療（医師会）は同じ方向を向く必要があると考えており、しっかり協力できる関係作りが築きあげられるよう努力していきたいと思っております。今後とも県医師会はじめ皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



西都市西児湯医師会新役員

役員等名簿（任期 令和6年6月24日定時総会終結後～令和8年6月の定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	松本 英裕	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	三財病院	総括, 学校保健, 医療事故, 産業医, 在宅医療, 勤務医部会, 産業医部会, 宮崎中部地域産業保健センター, 健康教育委員会, 情報システム委員会, 学校検診委員会, 健康検診委員会, 医療安全対策委員会, 県在宅医療協議会, 医師協同組合総代, 西都児湯医療センター評価委員会
* 副会長	上野 尚美	内科, 腎臓内科	上野医院	腎臓・糖尿検診, 県内科医会評議員, 糖尿病対策, 予防接種委員会
”	大塚康二郎	形成外科, 美容外科 皮膚科	大塚病院	県医師会常任理事, 労務, 会計, 医師確保対策委員会, 諸規定検討委員会, 園医部会, 医師協同組合総代
”	黒木 重晶	内科, 胃腸科	黒木胃腸科医院	総務, 学術生涯教育委員会, 公衆衛生・感染症委員会, 学校医部会評議員, 心臓検診, 西都市西児湯内科医会副会長, 医師協同組合総代
理 事	上山 裕史	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	上山整形外科 クリニック	介護保険, 介護保険委員会
”	片山 陽平	内科, 総合診療	西米良診療所	会員福祉・文化厚生, 会員福祉委員会
”	杉尾 克徳	内科, 胃腸科	すぎお医院	医師関係者対策委員会
* ”	鶴田 曜三	外科, 整形外科, 内科, 放射線科, リハビリテーション科	鶴田病院	医師保険, 救急医療, 医療保険委員会, 救急災害医療対策委員会
監 事	岩見 晶臣	小児科	いわみ小児科医院	
”	濱砂 重仁	外科	東米良診療所	
議 長	大塚 和子	皮膚科	大塚皮膚科医院	
* 副議長	久保 恵是	循環器内科, 内科	久保循環器内科医院	
顧 問	相澤 潔	内科	三財病院	
”	大塚 直純	外科, 消化器科, 胃腸科, 肛門内科, 乳腺内科	大塚病院	
”	兒玉 健二	内科	兒玉内科クリニック	
”	富田 雄二	内科, 循環器科, 小児科	富田医院	西都市西児湯内科医会会長

* は新任

令和6年9月号第901号P.23「各都市医師会だより」日向市東白杵郡医師会の役員等名簿において、一部記載に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

訂正内容は以下のとおりです。

■ 訂正箇所

新名 克彦 先生の診療科

■ 訂正内容

（誤）形成外科, 呼吸器科

（正）循環器内科, 心臓血管外科

宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 ー総合周産期母子医療センターー



こだま ゆき
児玉 由紀 センター長

総合周産期母子医療センターは、ハイリスク妊産婦の母体、胎児、新生児を一貫して管理し、母体管理、新生児管理を担うセンターです。産婦人科、小児科、小児外科、眼科、脳神経外科など多

診療科の協力のもと、県内の三次周産期・新生児医療を展開しています。

1996年に分娩部（産婦人科）と新生児治療室（小児科）が統合し周産母子センターが設立されました。1998年NICU（新生児集中治療室）とGCU（回復期治療室）での新生児治療を開始しました。2008年にMFICU（母体胎児集中治療室）が加わり、厚生労働省からの指定を受けて、総合周産期母子医療センターとなりました。今年は1998年の稼働から26年目です。

診療体制

宮崎県内の「最後の砦」として、24時間体制で母体・新生児搬送を受け入れています。スタッフは、副センター長 青木良則（講師・小児科）、病棟医長 後藤智子（助教・卒後臨床研修センター）、中目和彦（講師・小児外科）、藤崎碧（講師・産婦人科）、原田雅子（助教・小児科）、高村一成（助教・小児科）、松敬介（助教・産婦人科）、東真理恵（助教・産婦人科）、落合佳代（医員・小児科）、楯真由美（医員・小児科）、山下理絵（医員・産婦人科）、さらに小児科と産婦人科からのローテーター複数名で診療しています。

＜母体胎児部門＞早産、前期破水、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群、胎児異常、合併症妊娠などのハイリスク妊娠・分娩を管理しています。センター内の胎児心拍数モニタリングシステムは院内だけでなく、必要に応じて院外施設からのモニターも見るができるシステムとなっています。県内の1次、2次施設の胎児心拍数モニターもこの共同監視システムを通じて共有でき、安全な分娩体制の強化が整備されました。

＜新生児部門＞年間約30例の超低出生体重児（出生体重1,000g未満）を中心に、先天性心疾患、先天性横隔膜ヘルニアや腸回転異常などの小児外科疾患、脊髄髄膜瘤などの脳神経外科疾患、未熟児網膜症や動脈管開存症に対する手術など、各領域の専門医と協力して治療にあたっています。NO吸入療法や重症新生児仮死に対する低体温療法を導入し、県内で専門の治療を完結できる領域の拡大を進めています。

産科1次施設ではローリスク妊婦の分娩を扱い、ハイリスク症例は地域周産期施設へ、さらに高度な医療が必要な場合は当総合周産期母子医療センターへ紹介となるピラミッド型の診療体制を堅持することで、宮崎県の周産期死亡率は出生1,000あたり2.5程度と全国でも上位水準を維持しています。

教育体制

大学病院として、医学生、看護学生、研修医、助産師・看護師への周産期医療教育を継続して行っています。また週1回、県内地域周産期施設と県外周産期施設（鹿児島市立病院、ベルランド総合病院、船橋中央病院など）とでWebカンファレンスを開催し、知識向上を図っています。

おわりに

当センターの役割は、宮崎県の周産期・新生児医療の中核として機能することであり、県医師会の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(眼科医会)



なかむら あきのぶ

中村 彰伸 会長

宮崎県眼科医会は令和6年7月現在A会員51名、B会員65名、C会員11名、優待会員3名の計130名で構成されています。各医療

圏および宮崎大学眼科医局

から推薦された理事14名(女性3名)で奇数月に理事会を開催し、会務の運営に当たっています。会務は「宮崎県眼科医会講習会」「保険研究会」「目の健康講座」の開催や日本眼科医会、九州眼科医会および宮崎県医師会との連携が主となります。

「宮崎県眼科医会講習会」は年度内に4回開催し、眼科医療最先端で活躍中の各分野エキスパートの先生方(選定および講演依頼は宮崎大学眼科学教室にお任せ)に講演をいただいています。コロナ禍においてはWebあるいはハイブリッド形式での講習会でしたが、今年からは講習会と講習会後の情報交換会もリアル開催が可能となり会員相互の交流会にも役立っています。この講習会の最大の目的は、最新学術知見の修得により会員の医療の質の向上を図ることと「日本専門医機構認定眼科専門医」の資格維持の一助となることです。

また「保険研究会」は会員に保険診療について理解を深めていただくため、年に2回おおむね7月と12月に開催しています。診療報酬請求における算定回数制限や併施不可の医療行為の組合せなどの細かいルール、留意点などを会員

へ周知するようにしています。日本眼科医会が主催する「全国審査委員連絡協議会」と「全国健保担当理事連絡会」に担当理事を派遣し、その結果をふまえて社保・国保それぞれの審査委員で見解や対応を統一してこの「保険研究会」に臨んでいます。

「目の健康講座」は10月10日の「目の愛護デー」に合わせ、市民向け公開講座として2年に1度地区持ち回りで開催しています。こちらもコロナの影響で開催できずにいましたが、今年の令和6年1月に延岡文化センターで宮崎大学眼科学教室の池田康博教授に「失明に繋がる目の病気」について講演いただくことができました。会場は満席で、講演終了後に多数の質問が寄せられ大盛況でした。市民の方々の目の病気に対する関心の深さを講師含め担当者一同再認識いたしました。今後も「眼」について理解を深めていただけるよう企画していく所存です。

また市民への普及啓発活動として、世界緑内障週間に合わせグリーンライトアップ運動を毎年実施しています。県庁舎と有志眼科施設を夜間グリーンのライトで照らし出し、緑内障の啓発を行うものです。今年は3月10日から3月16日まででした。

このような活動を通して会員が提供できる医療の質を担保・向上させ、県民の眼の健康の維持に寄与できるよう努めてまいります。これからも皆様のご指導よろしくお願いいたします。

第25回宮崎県医師会医家芸術展

第25回医家芸術展が8月13～18日の6日間、県立美術館県民ギャラリーにて開催され、2,372名の方にご来場いただきました。今回は天候にも恵まれ、ここ5年間で一番多い来場者数となりました。

本展では、季節感あふれる風景写真や一瞬のチャンスを捉えた動物写真、旅行先の絵や独特の世界観を感じる抽象画、繊細な書、力強い書など、作者の個性や趣味、そして日常を感じることができる芸術性の高い作品が並びました。

出展された作品の一部につきましては、作者の許可を得まして日州医事の表紙を飾る予定となっておりますので、楽しみにお待ちください。

最後に、ご出展いただいた会員およびご家族の皆様、そして世話人の押川紘一郎先生、山内励先生、松本健吾先生の多大なご尽力に感謝申し上げます。

出展者数、出展数および開催期間中の来場者数は右表のとおりです。

	出展者数	出展数
絵 画	17名	56点
写 真	11名	24点
書 道	6名	13点
その他	1名	7点
合 計	35名	100点

	来 場 者 数
8月13日(火)	233名
8月14日(水)	437名
8月15日(木)	412名
8月16日(金)	254名
8月17日(土)	574名
8月18日(日)	462名
計	2,372名



「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和7年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
字 数 800字程度(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことが
ありますのでご了承ください)

締 切 令和6年12月6日(金)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」
である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

第127回九州医師会連合会定例委員総会

と き 令和6年8月24日(土)

ところ ホテル日航熊本

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長 長崎県医師会長

森崎 正幸

2) 九州医師会連合会長 熊本県医師会

福田 稠

3 来賓祝辞

1) 日本医師会長

松本 吉郎

2) 日本医師会名誉会長

横倉 義武

3) 日本医師会常任理事

濱口 欣也

4 記念品贈呈

本年6月に大分県の河野会長、長崎県の森崎会長、宮崎県の河野会長が日本医師会理事・監事を任期満了で退任され、また鹿児島県の池田前会長、佐賀県の松永前会長、沖縄県医師会の安里前会長がその職を退任された。記念品として、熊本の伝統工芸品である肥後象嵌による絵画を贈呈することが報告された。

5 座長選出

慣例により、九州医師会連合会の会長である福田会長(熊本県医師会長)が選出された。

6 報 告

1) 第417回常任委員会について

福田九医連会長から、第1号議案から第7号議案までを本定例委員総会に提案することおよび令和7年度九州医師会医学会の開催が福岡県に決定、令和8年度が鹿児島県に内定したことが報告された。



2) 令和5年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

長崎県の釣船委員から、令和5年度に実施した事業などについて資料にもとづき報告があった。

7 議 事

第1号議案 令和5年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

第2号議案 令和6年度九州医師会連合会事業計画に関する件

第3号議案 令和6年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 令和6年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第5号議案 令和6年度九州医師会連合会監事(2名)の選定に関する件

第6号議案 令和6年度第124回九州医師会医学会事業計画に関する件

第7号議案 令和6年度第124回九州医師会医学会会費賦課に関する件

第1号から第4号議案、第6号、第7号議案については、原案どおり承認された。第5号議案の令和6年度の監事（2名）については、慣例により担当県の隣接県である福岡県、鹿児島県から選出することが承認され、事前に推薦された福岡県の瀬戸委員、鹿児島県の大西委員が選定された。

8 閉 会

出席者－河野会長、小牧・金丸副会長、
市来・荒木・吉田常任理事
竹崎事務局長、松本・牧野課長、
荒川・畠中主事

お知らせ

令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和7年3月末卒業予定者

【就職希望者】 11名（男0人、女11人）

【就職希望地】 宮崎市内7名、都城2名、延岡・日向2名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

日医インターネットニュースから

■マイナ保険証、「個別聞き取り」を提案 — 実績低ければ医療機関・薬局に —

厚生労働省は8月30日に開いた社会保障審議会・医療保険部会（部会長＝田辺国昭・東京大大学院教授）で、マイナ保険証のさらなる利用促進策として、利用実績が著しく低い医療機関・薬局に対し、個別に働きかける方針を提案した。委員からは、方針を評価する声上がる一方、慎重な対応を求める声もあった。

●使えない施設、療担規則に抵触の恐れ

厚生労働省は、利用実績が著しく低い医療機関・薬局について、患者が自身の意向に反してマイナ保険証を使えないケースなどが考えられると説明。患者の「使用機会を奪っている」（厚労省）場合は、資格確認に関する療養担当規則に違反する恐れがある、との見解を示した。

利用が伸びていない施設では、何らかの困っている事情も想定されるとした。そのため、まずは「利用が進まない事情」を、地方厚生局が個別に確認する方針だ。対象施設には、事前にメールなどで知らせるという。

個別のアプローチに当たって判断材料となる利用水準の開示の有無や、取り組む時期は、現時点で決まっていないとした。

●「反発を招くことも考えられる」

佐野雅宏委員（健保連会長代理）は、個別のアプローチについて、「マイナ保険証のさらなる利用促進へ、非常に重要な取り組み」だと評価した。「どのような医療機関、患者特性で実績が低いのか、厚労省で分析してもらい、対応策を検討してもらいたい」と述べた。

城守国斗委員（日医常任理事）は、厚労省の方針について、「医療機関からすれば、やや威圧的な表現にも見える。かえって反発を招くこ

とも考えられる」と懸念を示した。利用状況の地域差も考慮しつつ、各医療機関の事情を詳細に確認すべきとした。「国として強制的な対応ではなく、より丁寧な支援をしてほしい。慎重に対応してもらいたい」と訴えた。

●さらに周知・広報

厚労省は、マイナ保険証を基本とする仕組みに円滑に移行するため、さらに周知・広報を進める方針も示した。利用する際の不安解消に主眼を置いた広報を展開する。医療機関に対しては、「より確実な本人確認が可能」といったメリットを周知する構えだ。

●顔認証付きリーダー、増設支援11月まで

顔認証付きカードリーダーの増設支援の対象期間を、11月まで延ばすことも報告した。医療機関・薬局への一時金支給は8月で終了する。

（令和6年9月2日）

■通知のマイナ利用率、翌月に適用 — DX加算で医療課 —

厚生労働省保険局医療課は9月3日付の事務連絡で、10月から3区分の評価となる「医療DX推進体制整備加算」について、社会保険診療報酬支払基金が通知するマイナ保険証利用率に基づく算定は、その翌月に可能だと周知した。

医療機関は、自院のレセプト件数ベース・オンライン資格確認件数ベースの利用率について、支払基金から毎月中旬ごろに届く予定のメールで把握できる。医療機関等向け総合ポータルサイトにログインしても分かる。

事務連絡では、通知した利用率は翌月の適用分だと説明。それを踏まえた算定は、翌月1日から可能だとした。

すでに、加算の施設基準を届け出ている場合、

加算見直しに合わせて、届け出をやり直す必要はないことも周知した。10月以降に利用率要件を満たせない場合、加算は算定できないと、注意を呼びかけた。

事務連絡の題名は、「医療情報取得加算及び医療DX推進体制整備加算の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その1）」。

（令和6年9月6日）

■外在ベア評価料（I）届け出は2割 — 東京・大阪の診療所 —

医療従事者の賃上げに向け、厚生労働省が2024年度診療報酬改定で新設した「外来・在宅ベースアップ評価料（I）」について、東京都と大阪府の状況を医師会が調べたところ、診療所の届け出割合はいずれも2割程度にとどまっていた。病院の届け出割合は8割前後だった。

●「簡便な体系」に見直しを

9月1日時点で、東京の診療所数は1万2941施設、病院数は633施設。外在ベア評価料Iを届け出ていたのは、診療所が2794施設（21.6%）、病院が489施設（77.3%）だった。

東京都医師会の荘司輝昭理事（医療保険担当）は、診療所の届け出が低調な背景について、「事務的負担がクローズアップされているが、都特有の事情も大きい」とした。

「診療所の看護師はパート職員をあえて選択するなど、雇用形態が多様で、一律にベア評価料の対象にならない状況にある」と説明。税制上の扶養控除に関する年収上限にも言及し、ベア評価料を歓迎しにくい職員もいるとの認識を

示した。

今後に向けては、診療所のベア評価料の仕組みを「簡便な体系」にすべきだとした。「事務的作業の簡素化も大事だが、診療所の職員の多様な働き方を踏まえた報酬体系に見直すよう、検討してほしい」と語った。

●「届け出率」上昇へ、支援の意向

8月末時点で、大阪の無床診療所数は8227施設、有床診療所数は166施設で、計8393施設。病院数は501施設という状況だ。

外在ベア評価料Iを届け出ていた無床診は1637施設（19.9%）、有床診は50施設（30.1%）。診療所全体で見ると、1687施設（20.1%）だった。病院は421施設（84.0%）に上った。

大阪府医師会の中尾正俊会長は、診療所の届け出状況について、「数字としては低い」との認識を示した。「今後、どうすれば届け出の手続きができるのか、その方法を教えられる人材を確保し、届け出率が上昇するように、会員に丁寧の説明していく」と述べた。会員への支援についても、早急に検討する構えだ。

診療所の割合が低いのは、「届け出様式の記載内容が難解な点が多い」と分析。診療所によっては入退職が多く、賃金改善計画書を作成しにくいと説明した。

受診する患者が減った場合、ベア評価料による収入増よりも、賃上げ分の支出増の方が多くなる、との不安が医療機関にはあると指摘。支出増が上回る場合、補助金などで支援していく必要があると訴えた。

（令和6年9月10日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

健康診断について

10月から日曜日健診がスタートしております。それぞれ定員がございますのでお早めにご予約ください。

1) 対象者

- ・組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者）
- ・上記以外の被保険者は、年度中に40歳になる方～74歳の方

2) 実施機関

① 宮崎市郡医師会病院 健診センター

I 平日および土曜日（午前のみ）… 予約は直接健診センターへ（☎0985-77-9108）

II 日曜日健診… 予約は当組合へ（☎0985-22-6588） Webでお申込みください⇒  【日曜日健診専用】

	日 程	(定員各30名)	オプション（定員有）		
			胃内視鏡検査	低線量ヘリカルCT 肺がん検診	マンモグラフィ検査
第1回	令和6年10月20日	△	×	×	○
第2回	11月17日	○	×	△	○
第3回	12月8日	○	×	△	○
第4回	令和7年1月19日	○	×	△	○
第5回	2月16日	○	×	△	○
第6回	3月2日	○	△	△	○
第7回	3月16日	○	○	○	○

（令和6年9月10日現在） ○：予約可，△：残り枠わずか，×：予約不可

② 健診機関または医療機関（自院で実施しても請求可）

- ・特に、特定健診対象者（40～74歳の方）は、必須検査項目（健診票の★印の項目）を必ず実施してください。
- ・組合員が自らに対して健診を行った場合（自己健診）も請求可能ですが、特定健診の実績とはなりませんので、他に医師がいらっしゃる場合はその方に判定をお願いします。または日曜日健診もご検討ください。
- ・「特定保健指導利用券」が届いた方は必ず保健指導を受けてください。

インフルエンザワクチン予防接種補助について

9月末に組合員宛に申請書を発送いたしました。接種された方は申請をお願いいたします。

1) 対象者 被保険者全員並びに高齢組合員

2) 補助金額 1人1回2,000円/年（高齢組合員は1,000円）

健康保険者証及び加入者情報（マイナンバーの下4桁）の通知について

健康保険証（以下「保険証」）は令和6年12月2日付で廃止となり、マイナ保険証（保険証の利用登録がなされたマイナンバーカード）を利用することを基本とする仕組みに移行します。現在、当組合にご加入の方には、令和6年10月1日から令和7年12月1日まで有効な保険証（桃色）を先月お送りしました。（期間中75歳になる方は、誕生日の前日までが有効期限）

保険証が廃止される令和6年12月2日以降も有効期限まで引き続き使用できますので、誤って破棄しないようご注意ください。

なお、保険証廃止日以降は、紛失などによる再発行は行いませんのでご注意ください。

また、情報の正確性を担保し、すべての被保険者の方に安心してマイナンバーカードを保険証としてご利用いただけるように、加入者情報（マイナンバーの下4桁）を組合員宛てに通知します。世帯全員分を特定記録郵便により送付いたしますので、誤りなどがなければご確認をお願いします。

宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

☎ 0985-22-6588 FAX 0985-27-6550



【マイナ保険証PR動画】

お知らせ

“8月に本県を襲った地震および台風” に関する原稿募集

8月8日(木)に日向灘を震源とする最大震度6弱（マグニチュード7.1）の地震が本県で発生しました。2019年に運用が開始された「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、およそ1週間の間、緊張状態が続きました。

また同月29日ごろ、台風10号の上陸によって県内各地で突風が発生するなど、大きな被害を与えました。

被害に遭われました方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%と言われ続けています。また、台風については地球温暖化の影響により、勢力をあまり落とさないまま日本に近づくことが多くなりました。

災害発生時の対応の再確認やBCP（事業継続計画）の作成・見直しなど、日頃からの備えが大切です。

広報委員会では、今回の災害の体験を過去のものとして今後に活かせる教訓とするために、これらに関する原稿を募集することといたしました。

地震が発生したときや台風が上陸したときの状況、その際の対応、備えはしていたのに実行できなかったこと、気付いたことなど、内容は自由です。

当時の経験を共有し、今後の行動として会員の皆様の参考になるよう、奮ってご投稿をお願い申し上げます。

※ 掲載の可否は広報委員会にご一任ください。

募集要項

■ 募集原稿

1) 体験記 字数：800～1,200字

※写真も受け付けます（掲載は白黒）。

写真1枚約200字相当です。

2) 体験記（ショート版） 字数：200字以内



体験記（ショート版）は
こちらの二次元コードからも
ご投稿が可能です。

■ 締 切

令和6年12月2日(月)まで

■ 宛 先

E-mail：genko@miyazaki.med.or.jp FAX 0985-27-6550

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101 宮崎県医師会広報委員会宛

9月のベストセラー（宮崎県）

集計：2024年9月1日～9月23日

1	透明な螺旋	東 野 圭 吾	文 春 文 庫
2	探花－隠蔽捜査 9－	今 野 敏	新 潮 文 庫
3	卑怯者！	飯 山 陽	W A C
4	書いてはいけない－日本経済墜落の真相	森 永 卓 郎	三五館シンシャ
5	自民党の大罪	適 菜 収	祥 伝 社 新 書
6	人生は「気分」が10割	キ ム ・ ダ ス ル	ダイヤモンド社
7	「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか？	今 井 む つ み	日 経 B P 社
8	百年の孤独	ガブリエル・ガルシア＝マルケス	新 潮 文 庫
9	任せるコッ	山 本 渉	す ば る 舎
10	ツミデミック	一 穂 ミ チ	光 文 社

**令和6年8月6日(火) 第5回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 後援・共催名義等使用許可について**

- ①10/20(日) (宮崎市民文化ホール) 運動器の健康・骨と関節の日 市民公開講座「ひむか骨と関節を考える会」への名義後援について

→運動器の仕組みや障害、予防法について市民の理解を深めることを目的に開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

- ②9/1(日) (イオンモール宮崎) 子宮頸がんワクチンについての啓発セミナー 県民公開講座への名義後援について

→本県の子宮頸がん罹患率の減少を目的に開催される県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

- ③11/10(日) (宮日会館) 宮崎県皮膚科医会講演会の開催について

→例年11月12日の「いい皮膚の日」の前後に一般の方への啓発活動として開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

2. 10/5(土) (熊本) 「九州医師会連合会第418回常任委員会・令和6年度第1回各種協議会」及び「九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会」の開催について

常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。各種協議会については、提案事項の取りまとめ等の担当として、地域医療対策協議会は玉置常任理事、医療保険対策協議会は嶋本常任理事、介護保険対策協議会は吉見常任理事が務めること、出席者については、後日事務局から照会することが承認された。勤務医担当理事連絡協議会については、提案事項の取りまとめ等の担当を田畑理事が務めること、出席者については、後日事務局から照会することが承認された。

3. 8/29(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる個別指導で、大塚常任理事を立会人として派遣することが承認された。

4. 審査委員の推薦について

委員1名の辞任に伴う推薦依頼で、辞任した委員の推薦母体である県内科医会に推薦を依頼することが承認された。

5. 8/30(金)日本医師会新会員情報管理システム(MAMIS)説明会の開催について

日本医師会が全国の会員並びに医師会事務局の負担軽減と利便性向上を目的に、本年10月末から稼働開始予定の新会員情報管理システム(通称MAMIS)について、8月30日に県医師会と各郡市医師会事務局

担当者を対象にした説明会を開催することが承認された。

6. 10/26(土) (西都市) 令和6年度宮崎県高等学校総合体育大会 男子第77回・女子第39回宮崎県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

開催地である西都市西児湯医師会に人選を依頼することが承認された。

(報告事項)

1. 7月末日現在の会員数について
2. 7/31(水)県保健医療福祉調整本部訓練概要説明会について
3. 8/5(月) (うめ田) 損保ジャパンとの懇談会について
4. 7/25(木)・8/2(金) (県医) 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座について
5. 8/2(金)広報委員会勉強会について
6. 7/31(水) (県医) 県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会について
7. 8/3(土) (県医) 産業医研修会(前期)について

令和6年8月20日(火) 第9回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県医療審議会委員の推薦について
→医療法に基づく諮問機関として設置される審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長と小牧副会長を推薦することが承認された。
- ②宮崎県防災会議の委員及び幹事の推薦について

→本県における総合的な防災行政の推進を目的に設置される会議で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、委員として河野会長、幹事として落合常任理事を推薦することが承認された。

③宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事の推薦について

→グループホーム事業の健全な運営と県内の高齢者福祉の増進に寄与することを目的に設置される会議で、本会の役員改選に伴う推薦依頼があり、吉見常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

- ①令和6年度生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について
→特定健診や胃・子宮・肺・乳・大腸がん検診に従事する医療関係者の資質向上を図るための研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①映画「はたらく細胞」及び「雪の花－とみに在りて－」の後援、広報協力依頼について
→健康を見直す機会を提供する内容の映画と、江戸時代に実在した笠原良策医師を描いた映画で、後援を行うことが承認され、メーリングリスト等を通じて広報に協力することとなった。
- ②10/5(土) (都城市北諸県郡医師会館)「第31回都城緩和ケア研究会」名義後援のお願いについて
→「緩和ケアの未来図～これからもこの地域で続けていくために～」をテーマに開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

③11/23(土) (県立図書館) 令和6年度「い
いお産の日in宮崎」の名義後援について
→「大切なあなたと家族の未来を守る～
いざ!という時あなたは～」をテーマ
に開催されるイベントで、名義後援を
行うことが承認された。

④11/21(木) (宮観ホテル) 過労死等防止対
策推進シンポジウムの後援名義使用承認
申請について
→過労死の防止を目的に開催されるシン
ポジウムで、名義後援を行うことが承
認された。

⑤10/5(土) (串間市文化会館) 令和6年度
日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講
座への後援のお願いについて
→「健康のために知っておきたい肝臓の
話」をテーマに開催される市民公開講
座で、名義後援を行うことが承認された。

⑥9/7(土) (池井病院) 医師事務作業補助者
協会宮崎地方会の名義後援依頼について
→医師事務作業補助者のスキルアップの
ために「つなぐ力～何が大事??それが
大事!! 初心にかえって楽しくお勉
強～」をテーマに開催される研修会
で、名義後援を行うことが承認された。

4. 9/24(火) (県医) 各郡市医師会長協議会の 開催について

開催することが承認された。議題につ
いては、9/17(火)に日医で開催される都道府
県医師会長会議の報告等のほか、各郡市医
師会にも照会する。また、役員から議題が
あれば事務局に提出することとなった。

5. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委 員(保険医代表)の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼があり、審査委

員会委員の選任基準(本会内規)に従い、
今後、県医師会及び郡市医師会並びに各専
門分科医会に人選を依頼していくことが承
認された。

6. 10/31(木)都道府県医師会組織強化担当役職 員連絡協議会の開催について

各地域における組織強化のための具体的
な取り組みの一助となることを目的に開催
される連絡協議会で、大塚常任理事がWeb
会議で出席することが承認された。また、
その他の担当理事にも案内し参加者を募る
こととなった。

7. 10/26(土) (福岡) 全国医師会勤務医部会連 絡協議会の開催について

「勤務医の声を医師会へ、そして国へ～
医師会の組織力が医療を守る～」をテーマ
に開催される協議会で、金丸副会長、嶋本
常任理事、田畑・山中理事が出席すること
が承認された。

(報告事項)

1. 本会名誉会員の訃報について

2. 週間報告について

3. 8/14(水) (支払基金) 支払基金審査運営協 議会について

4. 8/1(木) (県防災庁舎) 県地方独立行政法 人評価委員会について

5. 8/8(木) (県庁) 県総合計画審議会について

6. 8/19(月) (県医) 広報委員会について

7. 8/10(土) (県医) 県訪問看護ステーション 連絡協議会総会・研修会について

8. 8/18(日)中四九地区医師会看護学校協議会 について

9. あん摩・マッサージ・指圧施術療養費について

10. 8/7(水) (県防災庁舎) 県ジェネリック医 薬品安心使用促進協議会について

11. 7/29(月)・8/19(月) (県医) 組織強化・将来構想委員会小委員会について
12. 8/8(木) (県医) 生活習慣病検診各部長連絡協議会について
13. 8/9(金) (県医) 令和6年能登半島地震JM AT活動報告会について
14. 8/6(火) (県防災庁舎) 県感染症対策連携協議会について
15. 8/13(火)～18日(日) (県立美術館) 第25回宮崎県医師会医家芸術展について
16. 8/1(木) (県医) 勤務医部会理事会について
17. 7/31(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/17(火) (日医) かまやちさとし「決起大会」のご案内について
河野委員長と吉田常任執行委員が出席することが承認された。

令和6年8月27日(火) 第10回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について
研修医及び医学部卒後5年目までの会員80名の会費減免(日医及び県医)申請が承認された。
2. 令和6年度公衆衛生事業功労者表彰(厚生労働大臣表彰) 候補者の推薦について
健康増進, 疾病予防, 生活衛生, 衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で, 3名を推薦することが承認された。

3. 審査委員の推薦について ※辞任に伴う

現委員1名の辞任に伴う推薦依頼で, 内科医会推薦の医師1名を推薦することが承認された。

4. 9/19(木) (県防災庁舎) 九州厚生局と宮崎県による集团的個別指導の実施に係る立会いについて

56医療機関を対象に行われる集团的個別指導で, 市来常任理事を立会人として派遣することが承認された。

5. 9・10月の行事予定について (報告事項)

1. 8/24(土) (熊本) 九医連常任委員会について
 2. 8/24(土) (熊本) 九医連定例委員総会について
 3. 8/21(水) (県医) 各専門分科医会長会について
 4. 8/21(水) (県医) 県医診療報酬改定説明会について
 5. 8/27(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
 6. 8/22(木) (国保連合会) 県国保等はり, きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について
 7. 8/22(木) (県庁) 県地域医療対策協議会プログラム運用部会について
 8. 8/22(木) (県庁) 県地域医療対策協議会について
 9. 7/28(日)・8/25(日) (県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について
 10. 8/26(月) (県医) 勤務医部会総会・前期講演会について
- #### 医師連盟関係
- ##### (報告事項)
1. 8/22(木) (宮崎市内) 日本医師会釜范敏副会長医療機関訪問について
 2. 8/24(土) (熊本) 九州医連連絡会執行委員会について

県 医 の 動 き

(9月)

1	職員採用試験（二次）（荒木常任理事他）
2	県認知症疾患医療センター合同会議（Web会議） （吉見常任理事） 県内科医会理事会（金丸副会長他）
3	第6回常任理事協議会（会長他） 母体保護法指定医師審査委員会（小牧副会長他）
4	土曜会（報道機関支局長の会）との懇談会 （会長他）
6	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 （Web会議）（吉見常任理事） 未来の医療を語るオールみやざき交流会（会長他） 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（Web会議）（吉見常任理事）
7	県医師会医学会（Web会議）（会長他） 全国国保組合協会九州支部幹事会・総会・役員研修会（秦理事長他） 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等 （金丸副会長他）
8	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会（高木常任理事他）
9	男女共同参画委員会（Web会議）（会長他）
10	第11回全理事協議会（Web会議）（会長他）
11	広報委員会（荒木常任理事他） 医学会誌編集委員会（Web会議）（小牧副会長他）
12	宮大医学部医の倫理委員会（上山理事） 三師会懇談会（委員長他） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （上山理事）
13	厚生労働省迫井医務技官との意見交換会（会長他）
14	ロコモ予防運動推進事業養成講座 県産婦人科医会秋期定時総会・学術講演会 （Web会議）
17	都道府県医師会会長会議（会長） 日医連かまやちさとし決起大会（委員長他） 組織強化・将来構想委員会小委員会（Web会議） （小牧副会長他）

18	支払基金審査運営協議会（会長）
19	学校医部会総会（会長他） 社会保険医療担当者の集团的個別指導 （市来常任理事） 園医部会総会・研修会（高木常任理事他） 県産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会 引継ぎ・報告会（Web会議）
20	医師国保組合理事会（秦理事長他）
21	県小児科医会子ども健康セミナー（Web会議） （高木常任理事）
24	医協理事会（理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（理事長他） 第12回全理事協議会（会長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
25	全国国保組合協会理事長・役員研修会（Web会議） （秦理事長） 労災診療指導委員会・労災部会理事会 （赤須常任理事他） 広報委員会（荒木常任理事他）
26	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ 療養費審査委員会（大塚常任理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 （Web会議） 県有床診療所協議会総会・講演会（Web会議） （会長他）
27	日産婦医会性教育指導セミナー全国大会実行 委員会（上山理事）
28	日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州 ブロック会議（会長他）
30	健康教育委員会（Web会議）（会長他） 県内科医会会誌編集委員会（玉置常任理事）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和6年9月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 4人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	2	1	1
産婦人科	1	0	1
老健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 100人

	合計
令和6年度(4/1～9/1)	3
平成16年度から累計	100

3. 求人登録 102件 287人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	91	68	23	消化器外科	4	3	1
外科	22	19	3	乳腺外科	2	2	0
整形外科	19	16	3	健診	3	3	0
精神科	12	10	2	泌尿器科	2	2	0
脳神経外科	2	2	0	産婦人科	0	0	0
循環器科	14	11	3	検診	0	0	0
消化器内科	24	18	6	皮膚科	0	0	0
麻酔科	6	6	0	婦人科	1	1	0
眼科	9	6	3	呼吸器外科	0	0	0
放射線科	9	9	0	人工透析	12	8	4
小児科	3	2	1	リウマチ科	0	0	0
呼吸器科	0	0	0	臨床病理科	0	0	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	1	1	0
総合診療科・内科	11	7	4	診療科目不問	5	2	3
脳神経内科	2	2	0	緩和ケア	0	0	0
呼吸器内科	11	7	4	内分泌糖尿病内科	6	4	2
リハビリテーション科	5	3	2	その他	2	2	0
救命救急科	7	4	3	合計	287	220	67

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形外,麻	3	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おぎメディカルアソシエツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和6年9月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 都城市東町10街区18号 土地：614.18㎡ (186.11坪) 建物：鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり (3台) 別に隣接病院駐車場あり (応相談) ※賃貸部分は、2階、3階 (グループホームやすらぎ)	所有者：都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	③ 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地：750.44㎡ (227.40坪) 建物：木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台)	所有者：宮崎市郡医師会員 (医) 健心会 滝口内科医院 (旧) のぞみ医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年9月26日

10				月			
1	火	19:00	第7回常任理事協議会	18	金		
2	水	13:30	日医学校保健委員会	19	土	16:30	九州医師協同組合連合会通常総会
		19:00	全国学校保健学校医大会実行委員会・試食会	20	日		
3	木	19:00	健康スポーツ医学委員会(Web会議)	21	月	13:30	県障害者施策推進協議会
4	金	15:00	日医新会員情報管理システム(MAMIS)事務局説明会(Web会議)			14:00	労災診療費算定実務研修会(Web会議)
		19:00	労災部会自賠委員会(Web会議)	22	火	19:00	県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会
		19:00	県内科医会学術委員会(Web会議)			14:30	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会
		19:00	全国学校保健・学校医大会シンポジウム打合せ会			19:00	県プライマリ・ケア研究会
5	土	19:45	損害保険医療協議会(Web会議)			19:00	学術広報委員会
		14:00	九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会	23	水	19:00	組織強化・将来構想委員会
		15:00	県警察医会総会・特別講演会				
		16:00	九医連常任委員会	24	木	13:00	広報委員会
6	日	16:00	九医連各種協議会	25	金	19:00	産業保健活動推進全国会議(Web会議)
		18:10	九医連各種協議会報告会			19:00	医師国保組合理事会
7	月	12:30	県小児科医会役員会	26	土	9:00	ICLS指導者養成ワークショップ
		13:30	宮崎から医師をめざそう!応援フォーラム	27	日	10:00	全国医師会勤務医部会連絡協議会
8	火	14:00	県小児科医会秋季学術講演会			8:30	ACLS研修会
				28	月	10:00	日医社保指導者講習会
9	水	19:00	宮崎大学と県医師会との懇談会			10:00	福岡県医師会勤務医交流会
		18:00	県感染症対策連携協議会	29	火	13:30	みやざき愛の献血運動推進県民大会
10	木	19:00	県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会(Web会議)			15:30	県感染症対策審議会
		19:00	県産婦人科医会常任理事会(Web会議)	30	水	18:00	医師クラーク育成・スキルアップ研修会(Web会議)
11	金	13:00	都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会(Web会議)			15:00	労災診療指導委員会・労災部会理事会
		19:00	在宅医療研修会企画小委員会(Web会議)	31	木	15:00	日医医療秘書認定試験委員会
12	土	12:30	全国医師国保組合連合会代表者会・全体協議会			18:00	県HPVワクチン接種情報共有会・麻しん風しん対策推進会議・予防接種広域化検討会議
		10:00	日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会			19:00	県整形外科医会保険審査委員打合せ会議
13	日		(スポーツの日)				
		15:00	県・市町村との妊婦健診等に関する協議会				
14	月	19:00	第13回全理事協議会(Web会議)				
		16:00	支払基金審査運営協議会				
15	火	19:00	広報委員会				
		13:00	社会保険医療担当者の個別指導				
16	水	14:00	日医広報委員会				
17	木						

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年9月26日

11			月			
1	金				10:00 九医連委員・九州各県医師会 役員合同協議会	↑ 国 保 審 査
2	土	14:00 県プライマリ・ケア研究会世話人 会・総会・研修会 16:30 全国医師協同組合連合会通常総会	16	土	12:50 九州医師会総会・医学会 16:00 県整形外科医会研修会	
3	日	(文化の日) 11:00 世界糖尿病デーin宮崎2024県民公 開講座	17	日	九医学分科会・記念行事	
4	月	(振替休日)	18	月	18:00 医師クラーク育成・スキルア ップ研修会 (Web会議)	↑ 社 保 審 査
5	火	19:00 第8回常任理事協議会	19	火	14:20 都道府県医師会長会議	
6	水		20	水	19:00 広報委員会 19:00 医協会計監査	
7	木	13:00 全国学校保健・安全研究大会 14:00 宮大医学部医の倫理委員会 15:00 日医医療秘書認定試験委員会 17:00 全国学校薬剤師大会	21	木	19:00 勤務医委員会 (Web会議)	↓ 社 保 審 査
8	金	13:00 全国学校保健会中央大会 17:00 九医連学校医会評議員会・総会 18:00 全国学校保健・学校医大会会長招宴	22	金		
9	土	九州各県内科医会連絡協議会 10:00 全国学校保健・学校医大会	23	土	(勤労感謝の日)	
10	日	九州各県内科医会連絡協議会 9:30 九州学校検診協議会専門委員会 11:30 九州学校検診協議会役員会	24	日		↓
11	月		25	月		
12	火	18:30 第15回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会 との意見交換会	26	火	13:30 宮大経営協議会 14:30 県国保等はり、きゅう及びあん 摩マッサージ療養費審査委員会 14:40 宮大学長選考・監察会議 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第16回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会	
13	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会	27	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会 理事会	↓
14	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会	28	木		
15	金	16:00 九医連常任委員会 17:00 九医連臨時委員総会 19:00 県外科医会秋期講演会 (Web会議)	29	金	県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会 19:00 県医中間監事監査	
			30	土	14:00 かかりつけ医認知症対応力向上 研修会 (Web会議) 14:30 産業医研修会 (実地)	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講演会) 10月2日(水) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb	当院におけるデュピクセントの使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 講師 西川 陽太郎	26 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎080-6778-6526 リジェネロン(株)
	蕁麻疹におけるIL-4とヒスタミンの役割 広島市立広島市民病院 病院長 秀 道広	26 (1.0)	
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 10月2日(水) 19:00～20:30 宮崎市保健所1階 「A研修室」 ※受講は現地またはWeb	宮崎市CKD連携システムの活用について 宮崎市保健所 技師 岡田 菜々夏 他	13 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 宮崎市健康管理部健康支援課 ◇後援 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	CKDの診断意義と治療戦略 宮崎大学医学部 医療環境イノベーション講座 特別教授 藤元 昭一	13 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度宮崎県 小児科医会秋季学 術講演会 10月6日(日) 14:00～17:10 宮崎県医師会館	知っておきたい夜尿症診療の流れ 宮崎大学医学部 小児科 阪口 嘉美	67 (0.5)	◇主催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	当科で経験した侵襲性溶連菌感染症8例の検討 ～この機会に溶連菌を勉強しなそう～ 県立宮崎病院 小児科 石井 茂樹	28 (0.5)	
	悪性脳腫瘍の診断と集学的治療 宮崎大学医学部 臨床神経学講座 脳神経外科学分野 教授 沖田 典子	12 (1.0)	
	外来で診る子どもの発達障害 安房地域医療センター 小児科(千葉県) 市河 茂樹	29 (1.0)	
宮崎県透析患者循 環器疾患合併症講 演会 10月8日(火) 18:30～20:00 宮崎観光ホテル東 館2階「初雁の間」	宮崎県における最新の透析患者に対するTAVI 宮崎市郡医師会病院 循環器内科部長 木村 俊之	33 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 エドワーズライフサイエンス(株) ※第一三共(株) ☎070-1377-6776 (株)カネカメディックス ◇後援 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会
	包括的高度慢性下肢虚血(CLTI)診療の現状と限界 宮崎市郡医師会病院 循環器内科副部長 緒方 健二	57 (0.5)	
	宮崎県の循環器診療と課題 宮崎市郡医師会病院 循環器内科副院長 柴田 剛徳	12 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度第3回 医療安全管理・感 染対策講演会 10月9日(水) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	放射線部の医療安全 宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 宮崎大学医学部附属病院 放射線部長 東 美菜子 専門医共通講習－医療安全（必修）：1単位	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 （連絡先） 宮崎大学医学部附属病院医 療人育成課卒後臨床研修係 ☎0985-85-1864
宮崎県医師会産業 医研修会 10月9日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	自殺対策について 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第188回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 10月10日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル東 館2階「初雁の間」 ※受講は現地また はWeb	肺高血圧症診療における早期診断と地域連携 九州大学医学研究院 循環器内科学 教授 阿部 弘太郎 他	9 (1.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 アムジェン(株) （連絡先） 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 10月11日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキン グスペース ※受講は現地また はWeb	感染症専門医が考えるCOPDの診断と治療 長崎大学病院 呼吸器内科 助教 岩永 直樹	79 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アストラゼネカ(株) （連絡先） 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
都城市北諸県郡医師会学術講演会 (Web講習会) 10月11日(金) 19:00～20:15 まちなか交流センター 2階多目的室1-A ※受講は現地またはWeb	PSG検査とSAS地域連携について 群馬大学医学部附属病院 循環器内科 准教授 高間 典明	80 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 帝人ヘルスケア(株)
日医かかりつけ医機能研修制度令和6年度応用研修会 10月13日(日) 10:00～17:10 宮崎県医師会館	かかりつけ医の糖尿病管理 東京医科大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 主任教授 鈴木 亮	76 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	栄養や口腔におけるかかりつけ医との連携 長崎リハビリテーション病院 栄養管理室 室長 西岡 心大 他	10 (1.0)	
	認知症の方への意思決定支援とプライマリケア 内田病院 理事長・医院長 田中 志子	29 (1.0)	
	リハビリテーションにおける医療と介護の連携 広島大学病院 リハビリテーション科 教授 三上 幸夫	13 (1.0)	
	かかりつけ医の脂質異常症管理 東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長・教授 吉田 博	75 (1.0)	
	かかりつけ医の高血圧症管理 琉球大学病院 病院長・教授 大屋 祐輔	74 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月16日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県内科医会学 術講演会 ～日常診療におけ る高齢者の糖尿病 治療～ (Web講習会) 10月16日(水) 19:00～20:00 エアラインホテル 5F『竜舌蘭』 ※受講は現地また はWeb	経口セマグルチドに年齢制限は必要か？ 青山病院 顧問 内本 定彦	76 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※MSD(株) ☎080-6604-3132 ノボノルディスクファーマ(株)
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 10月17日(木) 19:00～20:00 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	MCI(軽度認知障害)診療の意義と認知症治療における 県南医療圏の診療連携について 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 准教授 塩見 一剛	12 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 エーザイ(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第12回九州在宅医療推進フォーラム in MIYAZAKI (1日目) 10月19日(土) 14:00～17:30 宮崎県医師会館	ACPをみつめなおす 満岡内科クリニック(佐賀県) 院長 満岡 聡 他	2 (3.0)	◇主催 全国在宅医療支援協会(九州ブロック) ◇共催 在宅医療助成勇美記念財団 日本在宅医療学会地方組織九州支部会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 九州各県訪問看護ステーション連絡協議会 全国薬剤師・在宅療養支援 連絡会(九州沖縄ブロック) 宮崎市郡在宅医会 宮崎ケアケアネットワーク ◇後援 宮崎県 宮崎市 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会 九州各県医師会 宮崎県薬剤師会 九州各県薬剤師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県医師会在宅医療協議会 宮崎県介護支援専門員連絡協議会 (連絡先)
第12回九州在宅医療推進フォーラム in MIYAZAKI (2日目) 10月20日(日) 9:00～13:00 宮崎県医師会館	ACPや緩和ケアを地域活動にどう落とし込み、どう広げるか くらしケアクリニック練馬(東京都) 院長 田上 恵太 他	2 (3.5)	第12回九州在宅医療推進フォーラムinMIYAZAKI事務局 ☎0985-77-9106

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第71回宮崎県スポーツ学会 10月19日(土) 15:00～18:30 宮崎大学医学部臨床講義室205 参加費:1,000円	国スポ障スポに向けた宮崎県スポーツ協会認定ATの養成と活動 リコンディショニングステーション宮崎 代表 尾崎 勝博 日医認定健康スポーツ医学再研修会:1単位	10 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	ハイパフォーマンススポーツにおけるトータルコンディショニング～アスレティックトレーナーの役割と活動～ 国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門 リハビリテーション科 主任専門職 鈴木 章 日医認定健康スポーツ医学再研修会:1単位	19 (1.0)	
	女性アスリートの特徴と宮崎県における女性アスリート支援 県立日南病院 産婦人科 医長 明野 慶子 日医認定健康スポーツ医学再研修会:1単位	72 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月22日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度第4回 医療安全管理・感 染対策講演会 10月31日(木) 16:00～17:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	当院の感染対策Up To Date 2024 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 高城 一郎 専門医共通講習－感染対策（必修）：1単位	8 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院医 療人育成課卒後臨床研修係 ☎0985-85-1864
令和6年度宮崎県 プライマリ・ケア 研究会研修会 (Web講習会) 11月2日(土) 14:30～16:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	意外と多い社交不安症：疾患の理解と対応 宮崎大学医学部 看護学科 教授 吉永 尚紀	69 (1.5)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第189回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 11月5日(火) 19:00～20:00 ホテルJALシティ 宮崎 ※受講は現地また はWeb	動脈硬化性疾患における中性脂肪コントロールと心臓 リハビリテーション 久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 主任教授 福本 義広 他	75 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第9回地域におけるウイルス性肝炎治療を考える会 (Web講習会) 11月7日(木) 19:00～20:00 MRT micc ※受講は現地またはWeb	肝癌撲滅を目指して ～熊本肝炎・脂肪肝プロジェクトの成果～ 熊本大学生命科学研究部 消化器内科学講座 教授 田中 靖人	73 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ギリアド・サイエンス(株) ☎090-2932-2794
「皮膚の日」講演会 (Web講習会) 11月10日(日) 14:00～15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地またはWeb	タンパク質欲 ～私達が食べるほかのすべての栄養素に影響を及ぼす タンパク質の力～ 青木皮膚科 出盛 允啓	11 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
延岡医学会学術講演会宮崎県北地区整形外科医会 (Web講習会) 11月15日(金) 19:00～20:00 キャトルセゾン・マツイ ※受講は現地またはWeb	今、目指すべき大腿骨近位部骨折加療のSDGs 米盛病院 骨粗鬆症 センター長 長谷 亨	77 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区整形外科医会 アステラス製薬(株) アムジェン(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度宮崎県 外科医会秋期講演 会（日本臨床外科 学会地方会） （Web講習会） 11月15日(金) 19：00～20：00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	甲状腺診療における最新トピックス 鹿児島大学 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 外科学講座 乳腺甲状腺外科学 教授 中条 哲浩	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100
宮崎県医師会産業 医研修会 11月20日(水) 19：00～21：00 宮崎県医師会館	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第3回宮崎骨粗鬆 症研究会 （Web講習会） 11月25日(月) 19：00～20：30 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	骨粗鬆症患者へのチームとしての取り組み(仮) 小牧病院 理学療法士 前原 孝政	10 (0.5)	◇主催 宮崎骨粗鬆症研究会 ◇共催 ※東和薬品(株) ☎080-1522-3887 ◇後援 宮崎県医師会
	骨粗鬆症の診断と治療(仮) 長崎大学 医歯薬学総合研究科 整形外科 助教 千葉 恒	77 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月26日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月27日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	高ストレス者に対する面接指導のポイントや対応について 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度自殺対 策研修会 11月28日(木) 18:30～20:00 宮崎県小林保健所 2階多目的ホール	こども・若者の自殺予防 ～「死にたい」と打ち明けられたら～ みよしクリニック 院長 三好 良英	68 (1.5)	◇主催 ※宮崎県小林保健所 ☎0984-23-3118
第89回宮崎整形外 科懇話会 12月7日(土) 17:30～18:30 宮崎大学医学部臨 床研究棟205教室 参加費：1,000円	これだけは知っておきたい小児運動器疾患 ～将来の関節症予防を踏まえて～ 南大阪小児リハビリテーション病院 薩摩 真一	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-9862

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度医療機関・介護施設等従事者結核研修会 (Web講習会) 12月17日(火) 19:00～20:30 日南保健所多目的室 ※受講は現地またはWeb	高齢者における結核の診療と院内感染対策について(仮) 宮崎東病院 院長 伊井 敏彦	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県日南保健所 ☎0987-23-3141
宮崎県医師会産業医研修会 12月17日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

お知らせ

日本医師会定例会見ページのご案内

日本医師会では原則、毎週水曜日に定例記者会見を開催し、松本会長始め常勤役員が日本医師会の考えや取組みなどについて説明しています。

その模様は下記の広報物に掲載していますので、ぜひご覧ください。

- 日本医師会公式YouTubeチャンネル



- 日本医師会ホームページ「日医on-line」



問い合わせ先：日本医師会広報課 E-M：kouhou@po.med.or.jp



診療メモ



依存症治療について

大悟病院 精神科 おお つか かず ゆき
大 塚 和 之

精神科医療の現場にいますと、近年、依存症の治療が大きく変化してきたことを感じます。従来から依存症の治療は困難な場面の連続でしたが、「底つき」「断酒一辺倒」などの画一的な治療は全く通用しなくなってきたことを感じています。以前からアルコール依存症の治療については、「底つき」（患者が治療を求める重篤な症状）が必要であるとか、「否認」（酒ぐらいいつでもやめられる、酒さえやめればいい、あの人はひどくはない等々）がありました。さらに、治療からの「逸脱」（入院中の隠れ飲み、入院中に外出して飲酒する、外部からのお酒の差し入れを受けるなど）があり、医療スタッフの忌避感を導き易く、医療従事者の治療拒否さえも見受けられました。更に近年は、発達障害やトラウマ、適応障害、ゲーム、ギャンブル、処方薬依存などさまざまな合併がクローズアップされ、ますます難しくなっていることを痛感しています。

1919年～1923年アメリカの禁酒法の時代を経て第二次世界大戦後、物質乱用が世界中に蔓延し、1971年にアメリカのニクソン大統領は、薬物犯罪取り締まり強化策「War on drugs」に突入しましたが、2011年に薬物政策国際委員会は厳罰政策が完全に失敗だったことを宣言し、2016年に国連は「麻薬問題は司法問題ではなく、支援を必要とする健康問題である」との声明を出しました。このころから「ハームリ

ダクション」への転換がみられます。「ハームリダクション」とは、精神作用のある薬物について、断薬もしくは使用量が減ることがなくても、その使用により生じている健康、社会、経済上の悪影響を減少させることを主たる目的とする政策、プログラム実践であると説明しています。

アルコール依存症の治療においても、否認との対決や底つき体験によって患者の病態は重症化し、回復が困難になることが明らかとなり、早期に介入し断酒までの過渡的な治療、ハームリダクションとして飲酒量の低減を薦める「新アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドライン」が2018年に改訂され、図1のように使用量の低減も選択肢になり得ることが提示されました。

埼玉県立精神医療センターの成瀬暢也先生は表1に示した治療指針も示され、さらにハームリダクションは、

「表面に現れた問題行動や症状を無理に抑えようとせず、その背景にある患者の生きづらさや困っていることへの支援を続け、信頼関係を育んでいく、患者が治療者との信頼関係を築き、人から癒されるようになると問題行動や症状は落ち着いていく」

「ハームリダクションは、依存症医療のみならず、精神科医療全般に通底する大切なことを提示している」

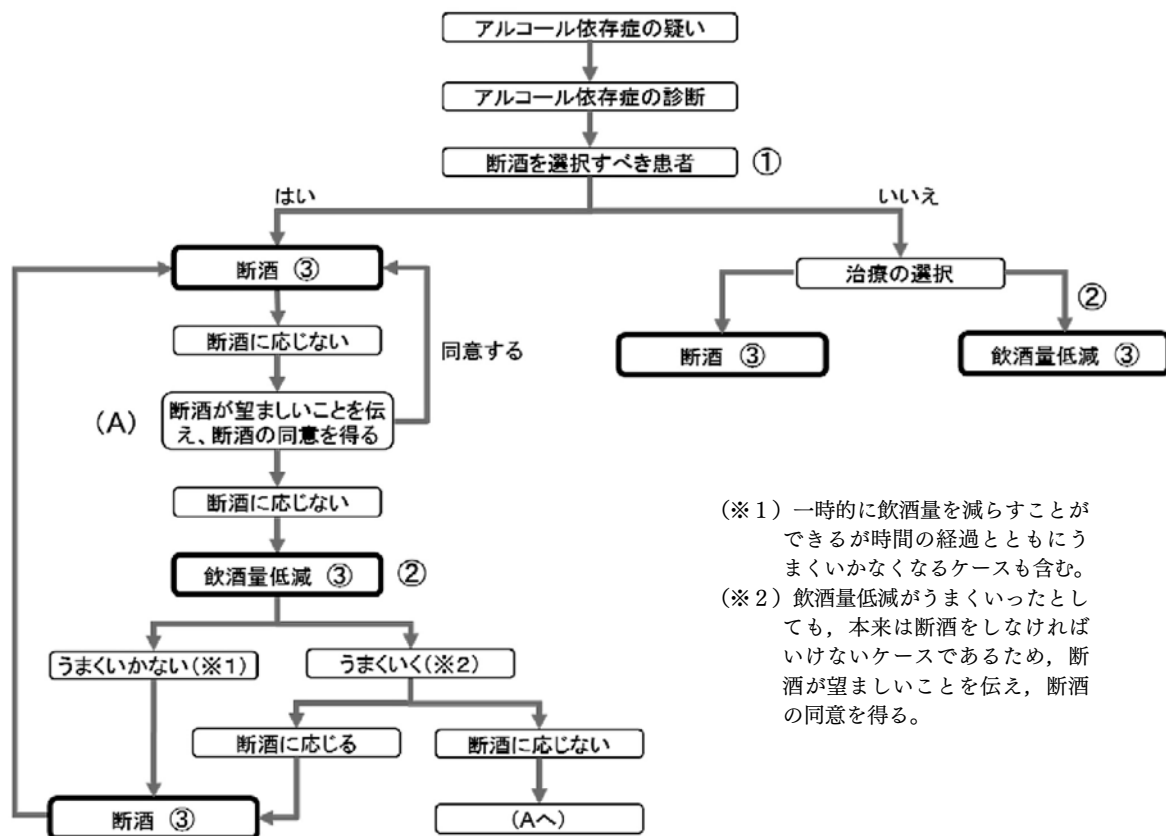
と主張されています。

スマホに依存し、ネット情報に嗜癖し、AIにまで判断を委ねようとして孤立を選好し、私たちは現在、孤立・回避の傾向を深めています。私は表1の中の「患者」を「他者」と読みかえて、他者との交流を深めていかなければならないのではないかと考えています。まさに、アメリカの精神分析医コフトが主張する自己愛（ナルシシズム）にとらわれているのではないかと危惧します。現代社会の生きづらさを自覚しながら、私たちは情報システムに蝕まれた行動アディクト（依存症者）であることを意識し、今後も依存症の治療を続けていきたいと考えています。

表1 ハームリダクションが依存症医療に有効な理由

1. 対立が起きず治療（信頼）関係を築きやすい。
2. ステイグマを軽減できるため患者を傷つけない。
3. 治療への抵抗を軽減できる。
4. 敷居の低いさまざまなサービスを提供できる。
5. 患者の自主性を尊重できる。
6. 患者への偏見を軽減し人権を尊重できる。
7. 患者をエンパワメントできる。
8. 患者の望む方向への支援を柔軟に提供できる。
9. 患者の健康被害を低減できる。
10. 治療・支援が継続し回復が生まれやすくなる。

精神神経学雑誌 第126巻 第5号 2024年より



- (※1) 一時的に飲酒量を減らすことができるが時間の経過とともにうまくいなくなるケースも含む。
- (※2) 飲酒量低減がうまくいったとしても、本来は断酒をしなければいけないケースであるため、断酒が望ましいことを伝え、断酒の同意を得る。

新アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドライン（第1版）、P18より作成

図1 診断・治療選択のためのフローチャート

新アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドラインに基づいたアルコール依存症の診断治療の手引き【第1版】より

宮大医学部学生のページ



学生主体の活動実現に向けて

宮崎大学医学部 医学科4年 ^さ酒 ^い井 ^れ麗 ^な奈

昨年度の早瀬元学生会長に続いて、今年度もありがたいことに機会をいただき、学生会の活動について執筆することになりました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、学生生活や学生自治活動において変化した点をご紹介させていただきましたが、今回は学生会の関与する活動の中でも、私が長を務めさせてもらっているサークル委員会の活動について主にご報告いたします。

サークル委員会とは、宮崎大学医学部の部活動、同好会の各代表者と学生会執行部役員により構成される、令和元年度より正式に発足した委員会です。サークル全体での情報の統率・共有や、サークル間の摩擦を減らすこと、助成金の申請を公式に行うことなどを目的にしています。今年度は4月にサークル委員会議を開催し、そこでサークル委員会の存在意義、活動内

容などについて説明しました。また、6月に行われた令和6年度宮崎大学医学部学生大会では、サークル委員会の構成員のみならず、広く学生にサークル委員会の活動について報告をいたしました。

ここで、サークル委員会だけでなく学生会全体、ひいては学生全体に関わる行事である学生大会についてお伝えしたいと思います。学生大会は毎年6月ごろに行われています。学生会および専門委員会の活動報告、決算・予算の承認などを行い、学生に広く学生自治の実態について知っていただく機会となっています。また、事前に学生から意見・要望を募ったり、その場で会場からの発議を募ったりすることによって、学生の意向を自治に反映することも重要な目的の1つです。学生大会終了後にはGoogle formによるアンケートを実施しており、例年多



令和6年度学生大会において 学生会執行部役員

くのご意見・ご感想をいただいております。昨年度の終了後アンケートでは、学生大会の開催場所について、利便性・快適性の観点から体育館よりも講義室などの方が適しているのではないかというご意見をいただきました。それを受けて、今年度は臨床講義室205教室での開催としました。

また、昨年度から各サークル代表者の参加が義務付けられたことで、大会に活気が出ただけでなく、各サークル単位での意見や要望を学生会がより把握しやすい状況となりました。今年度学生から挙げられた意見は、「夏の学内試験と西日本医科学生総合体育大会の日程調整を改善してほしい」「体育館の雨漏りがひどく、活動に支障をきたしている」などでした。試験日程については、教務係と学生会で話し合いを行いました。教務係としては、西医体の日程が出る前に試験日程を確保しなければならないため、試験日程の大枠を動かすことはできないものの、学生の意見を反映して、学生の負担が最小限になるような科目の並びにすることはできる、とのことでした。これを受けて各学年の学生会が学生から意見を募り、教務係と調整を行う形で対応しております。体育館については、学生支援係とサークル委員長、体育館利用部活代表者が連携し、まずは応急処置をしつつ、工事についても調整することとなりました。その他にも寄せられた意見・要望については学生会で検討し、改善に向けて取り組んでおります。

さらに、5月ごろ行われた九州・山口医科学生体育大会、8月に行われた西日本医科学生総合体育大会においては、合宿・遠征届の提出呼びかけおよび成績報告書の回収を行いました。各学年、試験が近いにもかかわらず、日頃の練習の成果を存分に発揮し、一生懸命戦ってくれました。特に西日本医科学生総合体育大会において、準硬式野球部は準優勝、女子軟式テニス部は団体戦で3位の好成績を収めました。個人の部でも素晴らしい成績を収めた学生がた

くさんいました。ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響で、満足に試合ができなかったり、大会の開催自体がなくなってしまったりと寂しい状況が続きましたが、今年度は学生らが大会を楽しんでいる様子を見ることができました。当たり前ですがスポーツや芸術活動を行えること、競ってくれる相手がいることの尊さをあらためて感じる機会となりました。

また、この場をお借りしまして新設の同好会をご紹介します。“MUMET (Miyazaki University Medical Emergency Team)”という団体で、救急科関連の知識・技能について学ぶ活動をしています。MUMETは2023年4月に立ち上げられ、1年という短い期間にもかかわらずBLS選手権全国大会への出場権利を獲得し、結果は総合10位、また心電図検定合格など輝かしい成績を収めました。今後さらに躍進してくれることでしょう。



BLS選手権全国大会において

ここまでお伝えしてきた活動の他、サークル用備品・機器補修等申請書の回収、活動報告書の回収、委員会全体に向けた周知などを行い、サークル活動が円滑になるよう努めています。今後とも学生主体のサークル活動を手助けできるよう取り組んでまいります。

最後になりますが、日頃より我々学生および学生会にご理解とご協力を賜りありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
9月3日	・地域医師会会員で日本医師会未入会者に対する日本医師会への入会促進について（依頼） ・令和7年度医療に関する税制要望について ・令和6年度健康長寿推進企業等知事表彰の募集及び周知について（依頼） ・ゲノム情報による不当な差別等への対応の確保（労働分野における対応）について ・医療広告ガイドラインに基づく標準的な対応期限も含めた指導・措置等の実施手順書のひな型について ・「令和4年国民健康・栄養調査結果の概要」の公表・周知について ・映画『はたらく細胞』の試写会の開催に関する周知へのご協力をお願い ・疑義解釈資料の送付について（その11） ・検査料の点数の取扱いについて ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和6年度診療報酬改定で新設された「訪問看護管理療養費1」及び「訪問看護管理療養費2」に係る届出について（その2） ・令和6年台風第10号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等および公費負担医療の取扱いについて ・令和6年台風第10号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和6年台風第10号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その2） ・令和6年台風第10号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その3）（その4） ・令和6年台風第10号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その5） ・令和6年台風第10号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その6）（その7）
9月6日	・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・2024年度アレルギー相談員養成研修会の実施について ・令和6年度死亡時画像診断（Ai）研修会の開催について（ご案内） ・第36回（令和6年度）健康スポーツ医学講習会の開催について ・「使用上の注意」の改訂について ・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて

送付日	文 書 名
9月6日	・医療扶助のオンライン資格確認への対応状況に関するアンケートの実施について（協力依頼） ・企業等における公正な採用選考の実現に向けて（要請） ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・「介護サービス事業者経営情報の報告等に関するQ&A」の発出について ・「介護職員等処遇改善加算」移行予定調査事業の実施について ・居宅介護支援に係る特定事業所集中減算の適正な適用について ・令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その10） ・令和6年度における年金生活者支援給付金の支給に関する対応について ・「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」協力をお願い（依頼） ・令和6年度医療機関における外国人患者受入れに係る実態調査実施について（協力依頼） ・熱中症対策のための高齢者への見守り・声かけについて ・新興感染症対策研修への補助に関するQ&Aについて ・ダニ媒介脳炎に関するリスクアセスメントについて ・N-ニトロソアトモキセチンが検出されたアトモキセチン塩酸塩製剤の使用による健康影響評価の結果等について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・一般財団法人医療関連サービス振興会「令和6年度 医療関連サービス実態調査」について ・医療用物資の国備蓄品の売却について ・「南海トラフ地震臨時情報」及び「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の周知・広報に関する依頼 ・令和6年度宮崎県看護職員需給調査の周知について（依頼） ・「病原微生物検出情報」の送付について ・公正競争規約の完全遵守に関するご理解とご協力をお願い ・肝炎に関する啓発資料の送付について ・令和6年台風第10号による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和6年台風第10号による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について（その2） ・令和6年台風第10号による災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和6年台風第10号に伴う災害の被災者の定期検査等の取扱いについて ・令和6年台風第10号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その8） ・令和6年台風第10号に伴う被害にかかる災害復旧資金について ・令和6年台風第10号に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和6年台風第10号に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
9月10日	・医療情報取得加算及び医療DX推進体制整備加算の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その1） ・日本医師会サイバーセキュリティ支援制度「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストの実践ガイド」改訂のお知らせ ・「機能性表示食品等に係る健康被害の情報提供について」等について（周知） ・令和6年度介護事業実態調査（介護従事者処遇状況等調査）へのご協力依頼について ・労災補償給付に係る検査等について（協力依頼）

送付日	文 書 名
9月13日	・小児の肺炎球菌感染症に係る定期の予防接種の実施方法について ・「小児慢性特定疾病指定医の指定について」及び「小児慢性特定疾病医療支援の給付に係る公費負担者番号及び受給者番号の設定について」の一部改正について ・令和6年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（富山大会）の開催について（送付） ・令和6年度サイバーセキュリティ対策研修について ・令和6年度女性医師の勤務環境に関する現況調査調査スケジュールについて ・厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会（第2回）のご案内について ・看護人材確保研修会開催の周知について（依頼） ・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催に伴う感染症サーベイランスの取組強化について（依頼） ・水銀血圧計等の回収促進に向けた周知及びアンケート調査への御協力について（依頼） ・長期収載品の選定療養における肝炎治療特別促進事業の助成対象について ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について（協力依頼）
9月17日	・県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」への協力について（依頼） ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・日本小児科学会「ONLINE こどもの救急」の周知について（依頼） ・令和6年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（富山大会）の開催に係る参加申込み期間の延長について
9月20日	・医師会会員情報システムMAMISの周知依頼 ・令和6年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて ・集団指導用eラーニングコンテンツ（令和6年度版）の日本医師会ホームページへの掲載について ・要指導医薬品として指定された医薬品について ・要指導医薬品から一般用医薬品に移行する医薬品等について（通知） ・医薬若しくは歯科医薬又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針の一部改正について（通知） ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・デュピルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎）の一部改正について ・メボリズマブ（遺伝子組換え）製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・N-ニトロソアトモキセチンが検出されたアトモキセチン塩酸塩製剤の使用による健康影響評価の結果等について ・患者からの医薬品副作用報告に関する広報の周知について（協力依頼） ・信用保証協会によるセーフティネット保証5号について（情報提供）

送付日	文 書 名
9月24日	・「診療所における医療DXに係る緊急調査」ご協力をお願い ・ベースアップ評価料に係る届出様式の改定について ・令和6年度厚生労働省委託事業「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」の開催について（依頼） ・厚生労働省による「医療機関等における経営状況等に関する調査」へのご協力について ・名古屋検疫所中部空港検疫所支所での黄熱予防接種休止について ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症の治療薬（フェトロージャ点滴静注用1g）の適正使用に関するアンケート調査について ・医療用物資の国備蓄品の売却について
9月27日	・令和6年度の「風しんの追加的対策」にかかる対応について ・医療機関に対するSNS等の書き込み（誹謗中傷等）に関するアンケートについて（周知依頼） ・日本医師会定例記者会見に関する周知へのご協力をお願い ・「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第20次報告）」の公表について ・学校保健安全法に基づく児童生徒等の健康診断の実施に当たって留意すべき事項について ・令和6年度外国出生者受入事業所及び学校向け結核研修会の開催について（通知） ・季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの供給等について ・HPVワクチンに関する10月以降の周知資料等について ・宮崎県市町村国保適正服薬促進支援事業への御協力について（依頼） ・適正服薬支援のための薬剤情報通知事業への御協力について（依頼） ・ケアプランデータ連携システム直近の重要なトピックス（情報提供） ・厚生労働省 令和6年度介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式「デジタル中核人材養成研修」の周知及び受講勧奨のお願い（情報提供） ・訪問看護ステーションにおけるオンライン資格確認の利用に関するリーフレットの作成等について ・防災推進国民大会2024の開催について ・令和6年度環境省受託事業電子マニフェスト操作体験セミナーの開催について（周知依頼） ・令和6年9月20日からの大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・低気圧と前線による大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかる介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和6年能登半島地震による被災に伴う保険診療関係等の特例措置の期間について

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
b	c	c	b, d	a, c, d	c, e	c, e	b	c

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



7月に大学の同窓会と同期生の集まりがあり、母校のある山梨県に出掛けてきました。甲府の街は5年ぶりに訪れましたが、駅前に以前はなかったヨドバシカメラが出店していたのに驚きました。街並みも変わっていて新しくできた建物や逆になくなった店もあり、時間の流れを感じました。老舗のホテルで全体会に出席した後、近所にある別の老舗ホテルで同期の集まりが行われました。そのホテルも今は、山梨県発祥で全国規模の企業に成長した「シャトレゼ」の傘下になっていました。卒業の同期生は100名前後でしたが、実際に集まったのは40名あまりでした。すでに鬼籍に入ってしまった仲間もありました。当時としては女性が多く20数名いました。私たちは平成4年に大学（当時山梨医科大学、現在は山梨大学医学部）を卒業したので32年ぶりに再会したことになります。特に私は母校から遠いので（海外の在住者を除くと母校から最も遠くなる）、なかなか会えないこともあり本当に貴重な経験でした。全員が近況報告を含めた自己紹介を行いました。30年という年月はさすがに長く今は「アラ還」となっており、外見が昔のまま変わらない人とすっかり変わってしまった人とがおり、興味深く見ていました。私が個人的に許可を得て持ち込んだ九州産の日本酒（鍋島・七田・三井の寿）がよく冷やされた状態で準備され、出席者に味わっていただきました。若いころはあまり話したことがない人や苦手だった人とも、30年あまりの医師の経験から、なんら不自由なく話すことができました。同期生たちがそれぞれの場所、専門、地位で医師として活躍しているのが確認でき、自分も健康に留意しながら医師という職業を続けるうえでの励みになりました。（高橋）

* * * * *

私は沖縄が好きで、家族でよく訪れます。宮崎から直行便で那覇へ。レンタカーを借りると好きなところへ行けます。沖縄そば、大きな弁当、いなり、チキン、アメリカンな食事が楽しめます。コバルトブルーの海も最高です。古宇利島のビーチにはたくさんさんの熱帯魚がいて水槽の中にいるようです。景色がいいプール付き貸別荘でのBBQなんて最高です。宮崎から1時間ちょっとで非日常が体感できます。充電にいかがですか。（石田）

* * *

災害時の備蓄が話題になったとき、被災したら食事が喉を通らないかもしれないからどんな食べ物をどのくらいストックしたらいいか…と知人が言っていました。ネットで調べると、長期保存ができるスナック菓子や野菜が取れる食べ物、常温保存ができる豆腐など初めて知るものもあります。これまでは適当に買い揃えて、賞味期限が過ぎたら処分していましたが、ローリングストックをしながら味見を兼ねていろいろ試してみたいなと思いました。（横山）

* * *

和歌山県の湯の峰温泉にある（つば湯）は、熊野参詣道の一部として世界文化遺産に認定された唯一の温泉として知られています。先日、那智勝浦から高野山を旅行し、念願叶って（つば湯）に入湯しました。2人で入るといったいの湯船が熱々の源泉で満たされていました。小栗判官がこの湯で生き返ったという伝説もあり、とても気持ちのよい泉質で旅の疲れがいききに吹き飛びました。日本に生まれてよかったと思える瞬間です。（永野）

先日の9月6日に宮崎観光ホテルにて「未来の医療を語るオールみやざき交流会」が開催され、参加してきました。宮崎大学医学部の5年生を対象とした会で、宮崎県知事や県医師会会長をはじめとして多くの先生方にお越しいただきました。卒後、宮崎で研修を行う医師を増やす取組みの一環としてのイベントであるようで、さまざまな方々と卒後研修についてお話をさせていただきました。私は地域枠での入学であるため宮崎で研修を行うことは決定していましたが、将来のプランを想像できるよい機会となりました。ご参加いただいた先生方、お忙しい中ありがとうございました。（境）

* * *

9月17日にCBTが終わり、2か月弱の長期休みに入りました。この休みを充実させるためにも、さまざまなことに取り組んでみようと考えています。その一つとして、パンチニードルを始めました。糸を通したニードルで布をプチプチと刺していくのですが、簡単で無心でできるので楽しいです。これから好きなキャラクターなどいろいろな作品を作りたいです。（家村）

* * *

いよいよ11月に宮崎県で開催される第55回全国学校保健・学校医大会まで2か月を切りました。学会自体の企画はできあがり、事前参加登録者数も目標に達したところであります。あとは当日最後の懇親会での美酒を最終ゴールとし、担当理事として頑張っていきたいと考えております。皆様のご協力よろしくお願いいたします。（高木）

今月のトピックス

日州医談 新会員情報管理システムMAMIS（マミス）について

市来能成常任理事より新会員情報管理システム（MAMIS）の説明です。来年度より稼働が予定されている様子が医師会のDXの進展が期待できます。できれば早々に医師会主導で電子カルテを作っていただきたい。今までの電子カルテのデータを移行できればありがたいです。

4 ページ

随 筆

森憲正先生の「人との出逢い：恩師の思い出 その2」について、前901号と合わせて、その記憶力、その時代を彷彿とさせる文章力に感嘆しております。私自身が祖父母と暮らしていた影響か、以前より前大戦下での日々の生活に関心があり、最近ではこの史代著「この世界の片隅に」や勝田文著「風太郎不戦日記」、黒岩花奈子著「劔の軍医」などを読んでおります。

6 ページ

身近なお困りごと相談室

カスハラに対する法律は、事業者の端くれとしてスタッフのストレスを取り除くためにもいち早く制定していただくことを期待しております。

19ページ

宮大医学部学生のページ 学生主体の活動実現に向けて

医学科4年の酒井麗奈さんによるサークル委員会とMUMETの活動紹介です。学生自治活動を円滑に進めるための活動に、自分の学生時代がチャランポランであったことを反省するところです。

66ページ

(文責：菊池 英維)

日 州 医 事 第902号 (令和6年10月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 金城 由歩, 境 笙太郎, 家村 和奈, 宮本貴由樹

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)